

## 第4章 主要商圈の構造

※再掲※

### < 商圈設定の基準 >

商圈の設定は、調査対象品目のうち衣料品 [4品目：①紳士服、②婦人服、③子供・ベビー服、④実用衣料 (シャツ・下着・靴下等)] に対する消費者の購買地への吸引率 (他市町村からみれば流出率) を基準としている。



# 1. 千葉商圏（商業中心都市）

## (1) 商圏の概要

千葉商圏は、県中央部分一帯を中心に形成されており、前回調査では15市10町1村であったが、6市1町が圏外となり、10市8町1村となった。

第1次商圏は、前回調査と変わらず千葉市1市となった。（吸引率85.5%）

第2次商圏は、前回調査時の7市8町に、第3次商圏から1町1村が加わり、3市3町が同商圏へ移動、さらに1市は圏外となり、4市5町1村となった。（吸引率16.5%）

第3次商圏は、前回調査時の7市2町1村から、第2次商圏へ1町1村が移動、また同商圏から3市3町が加わり、さらに5市1町が圏外となり、5市3町となった。（吸引率7.5%）

商圏人口は、前回調査時（2,410,743人）から20.2%減少して1,922,987人（千葉市人口の約2.0倍・県人口の30.7%）となった。

商圏内吸引率は、前回調査時（40.8%）から8.5ポイント増加して49.3%となった。

吸引人口は、前回調査時（983,082人）から3.5%減少して948,498人（千葉市人口の97.0%・県人口の15.1%）となった。

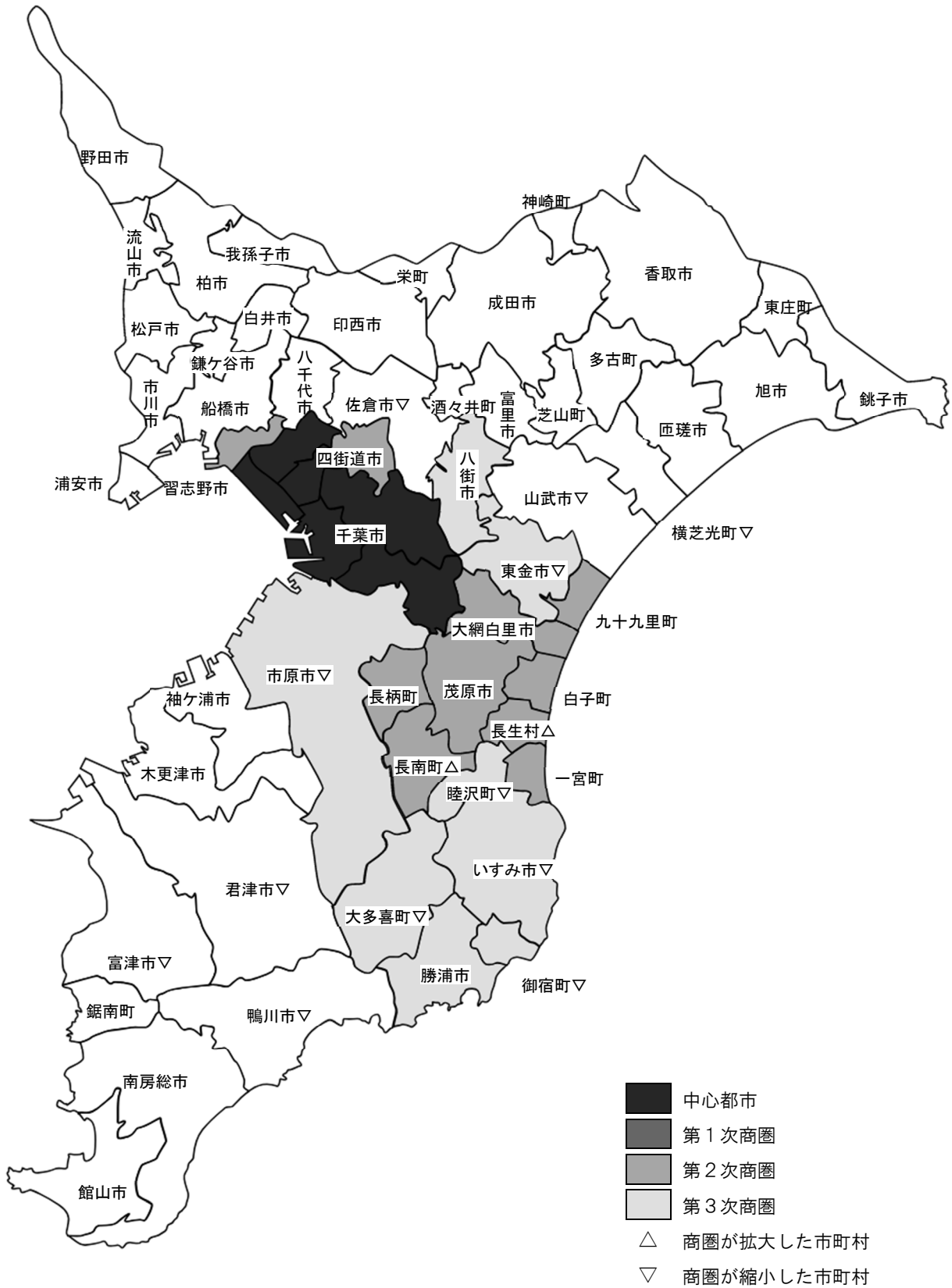
吸引力は、前回調査時（102.1%）から5.1ポイント減少して97.0%となった。

図表4-1-1 千葉商圏の市町村別吸引率・商圏人口・吸引人口

商圏 (基準吸引率)	平成30年					平成24年			
	市町村	市町村 吸引率	市町村 人口 (商圏人口)	吸引人口	前回調査から の区分の変化	市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化	
第1次商圏 (30%以上)	計	1	85.5%	977,485	835,750	計	1	83.7%	
	千葉市		85.5%	977,485	835,750	千葉市		83.7%	
第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	10	16.5%	467,783	77,149	計	15	15.3%	
	四街道市		21.2%	91,387	19,374	大網白里町		22.4%	
	習志野市		17.7%	172,811	30,588	長柄町		19.6%	
	大網白里市		16.4%	48,458	7,947	四街道市		18.7%	
	長柄町		14.9%	7,050	1,050	市原市		17.2%	第3次へ
	茂原市		13.0%	88,201	11,466	陸沢町		14.4%	第3次へ
	長生村		12.8%	14,111	1,806	東金市		13.4%	第3次へ
	白子町		11.6%	10,726	1,244	習志野市		13.3%	
	長南町		11.5%	7,748	891	九十九里町		13.2%	
	九十九里町		10.2%	15,492	1,580	茂原市		12.8%	
	一宮町		10.2%	11,799	1,203	袖ヶ浦市		12.5%	圏外へ
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	8	7.5%	477,719	35,599	白子町		11.7%	
	陸沢町		9.4%	6,956	654	いすみ市		11.3%	第3次へ
	東金市		8.9%	59,382	5,285	一宮町		11.0%	
	いすみ市		8.0%	36,942	2,955	大多喜町		10.3%	第3次へ
	大多喜町		7.7%	9,326	718	御宿町		10.3%	第3次へ
	市原市		7.2%	271,640	19,558	計	10	7.0%	
	御宿町		7.2%	7,066	509	八街市		9.8%	
	八街市		7.1%	68,570	4,868	勝浦市		9.1%	
	勝浦市		5.9%	17,837	1,052	長南町		8.7%	第2次へ
合計	19	49.3%	1,922,987	948,498	鴨川市		8.4%	圏外へ	
					長生村		8.1%	第2次へ	
					山武市		6.9%	圏外へ	
					佐倉市		6.5%	圏外へ	
					富津市		5.9%	圏外へ	
					横芝光町		5.8%	圏外へ	
					君津市		5.5%	圏外へ	

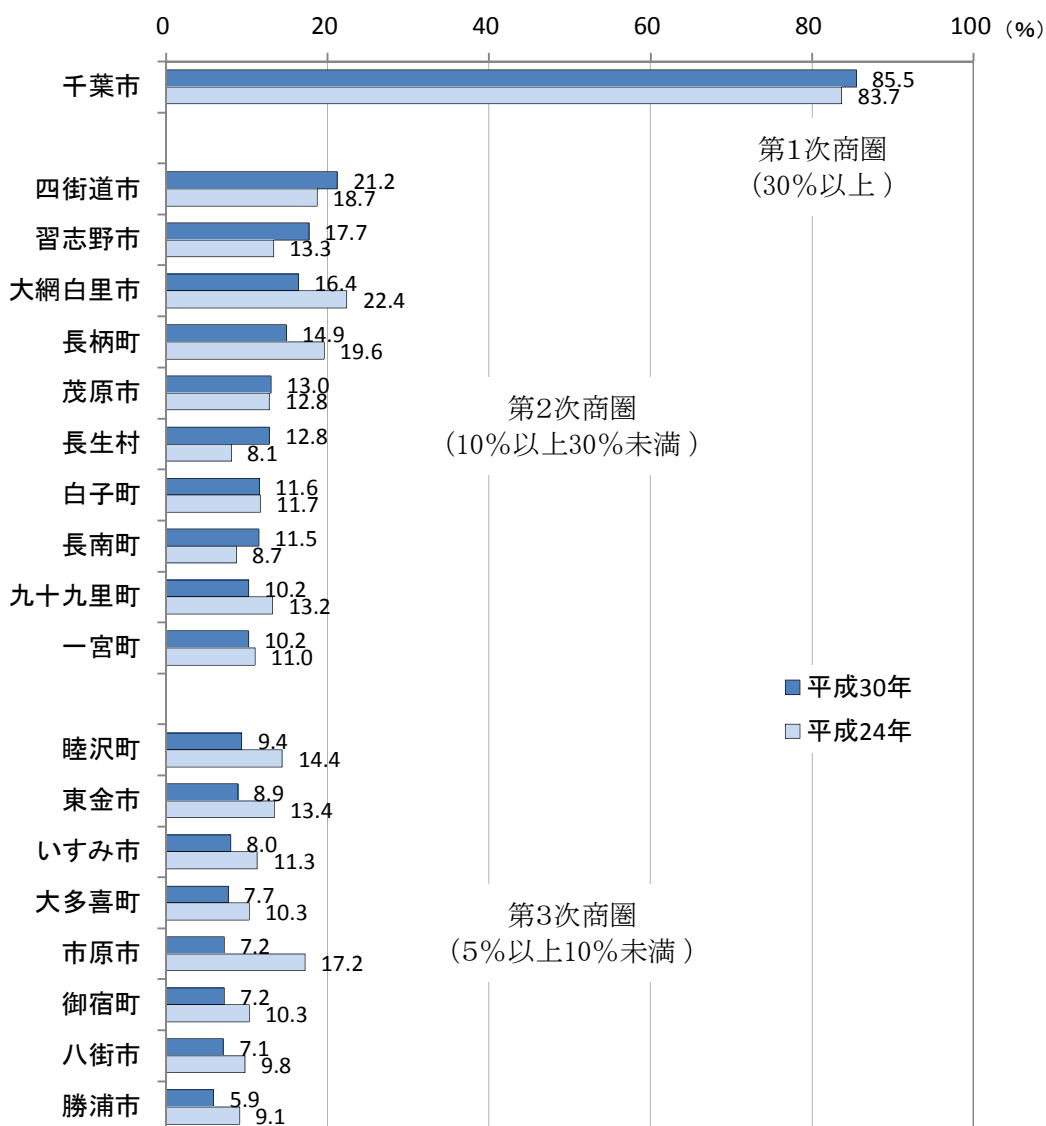
※大網白里市は、平成24年では大網白里町。

図表4-1-2 千葉商圏（衣料品）





図表4-1-3 千葉商圏の吸引状況（市町村別）



※大網白里市は、平成24年では大網白里町。

(2) その他品目における商圏内市町村の具体的な変化

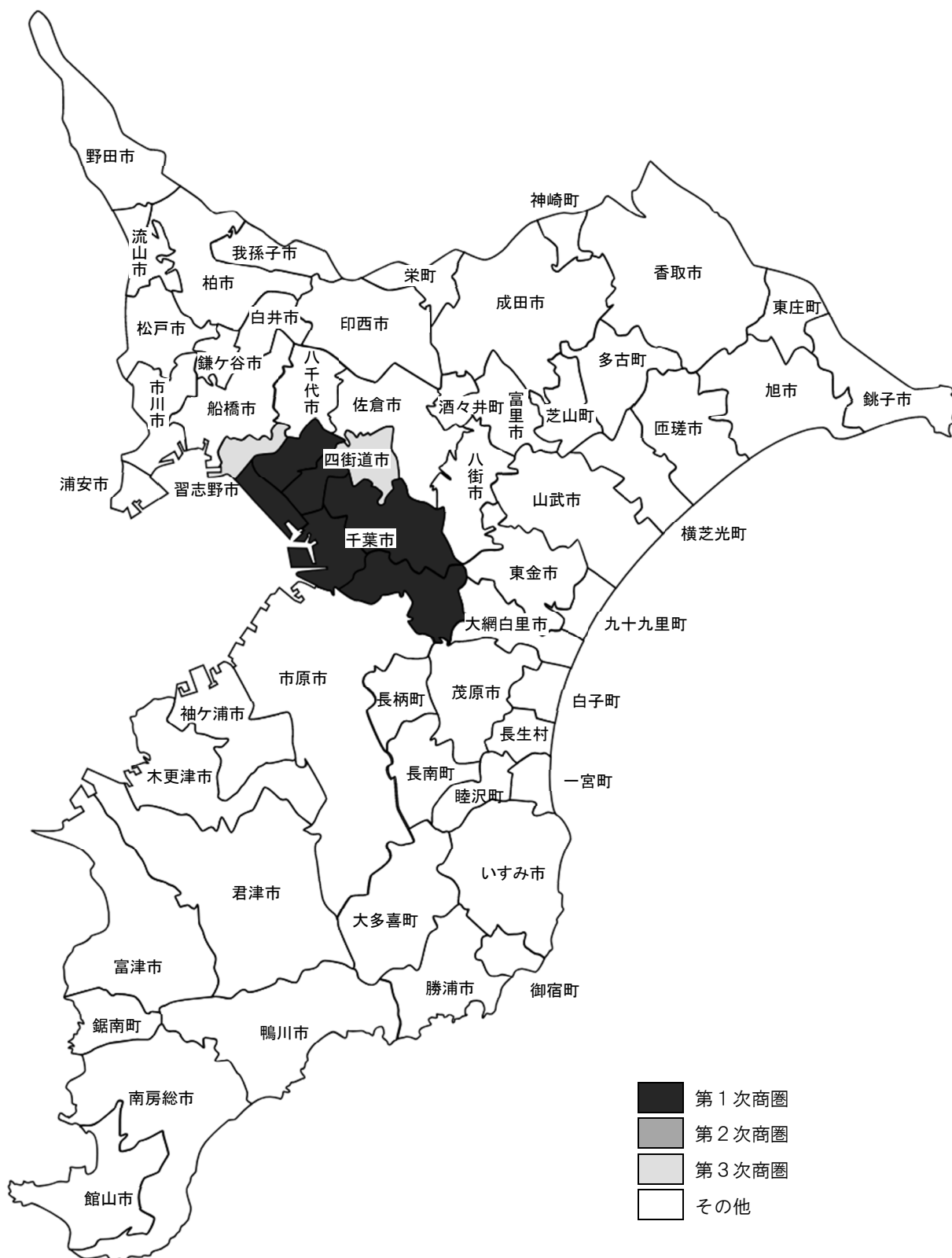
その他の品目（食料品・飲食・贈答品）における千葉商圏内の市町村の変化を以下に示す。

図表4-1-4 千葉商圏の市町村の変化（食料品・飲食・贈答品）

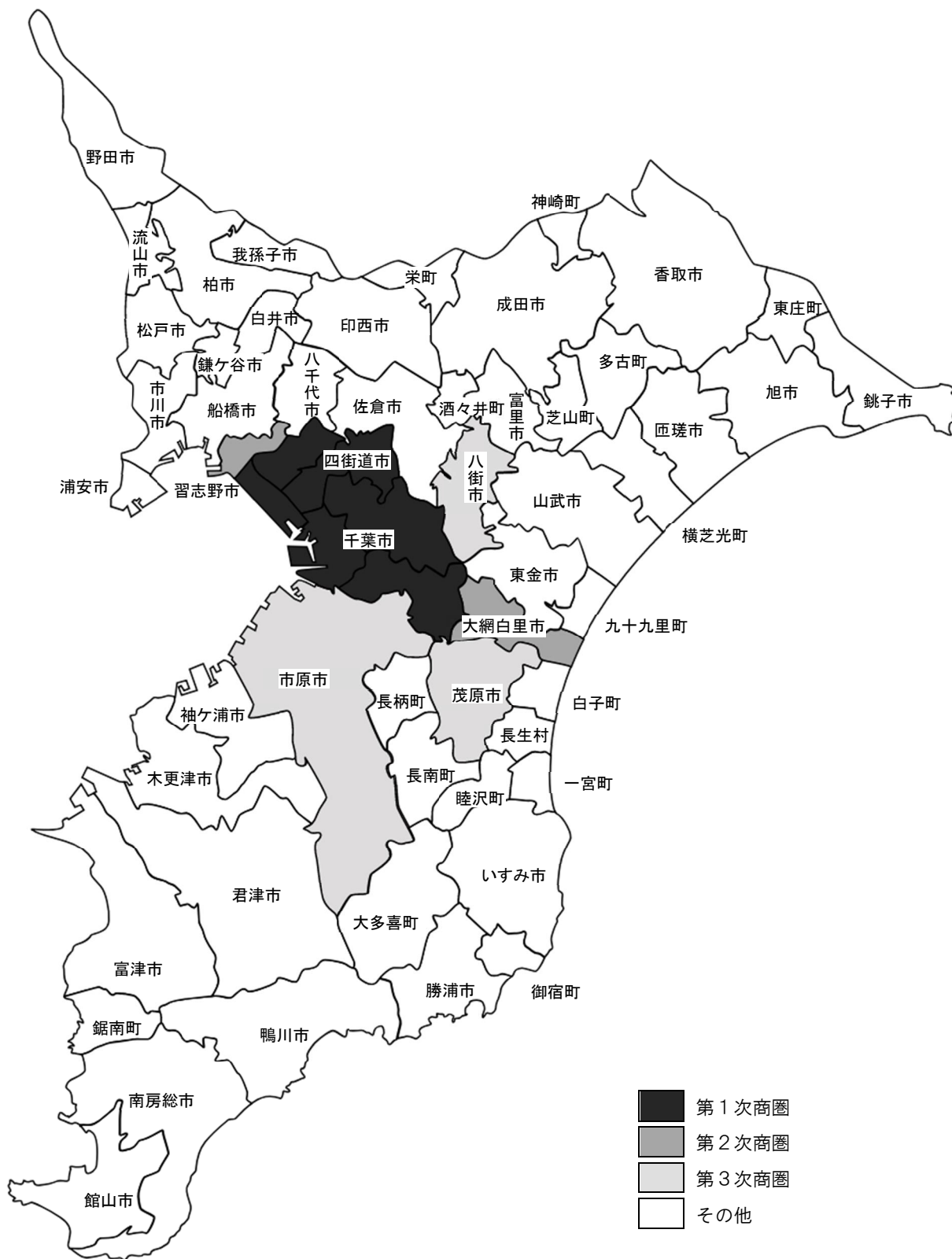
商圏 (基準吸引率)	平成30年			平成24年		
	市町村	市町村 吸引率	前回調査から の区分の変化	市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化
食料品	第1次商圏 (30%以上)	計 1	98.3%	計 1	93.3%	
		千葉市	98.3%	千葉市	93.3%	
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計 0		計 1	10.9%	第3次へ
				習志野市	10.9%	
	第3次商圏 (5%以上10%未満)	計 2	9.0%	計 2	5.4%	
	四街道市	9.1%	四街道市	5.9%		
	習志野市	8.9%	市原市	5.3%	圏外へ	
合計	3	79.3%	4	62.2%		
飲食	第1次商圏 (30%以上)	計 2	91.9%	計 2	87.3%	
		千葉市	97.0%	千葉市	91.3%	
		四街道市	37.9%	四街道市	44.0%	
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計 2	19.8%	計 4	17.5%	
		習志野市	21.4%	習志野市	26.0%	
	大網白里市	14.1%	大網白里市	14.5%		
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計 3	5.8%	計 4	6.2%		
	八街市	7.6%	八街市	12.6%	第3次へ	
	市原市	5.6%	市原市	14.3%	第3次へ	
	茂原市	5.2%	佐倉市	8.8%	圏外へ	
合計	7	61.2%	10	62.4%		
贈答品	第1次商圏 (30%以上)	計 3	73.0%	計 4	71.1%	
		千葉市	77.1%	千葉市	84.3%	
		四街道市	51.2%	四街道市	55.3%	
		大網白里市	30.3%	市原市	37.2%	第2次へ
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計 18	19.0%	計 18	17.2%	
		長柄町	27.6%	長柄町	26.7%	
		茂原市	27.2%	袖ヶ浦市	22.3%	
		市原市	27.0%	白子町	22.0%	
		白子町	23.5%	茂原市	21.8%	
		東金市	21.4%	東金市	20.8%	
		九十九里町	19.8%	睦沢町	18.8%	
		睦沢町	19.1%	九十九里町	17.5%	
		長南町	18.8%	佐倉市	16.8%	
		長生村	17.4%	一宮町	16.8%	
		習志野市	16.3%	八街市	16.4%	
		一宮町	15.1%	勝浦市	15.1%	第3次へ
		八街市	14.8%	習志野市	14.3%	
		いすみ市	14.8%	いすみ市	13.8%	
		御宿町	14.7%	大多喜町	12.7%	
		山武市	13.7%	御宿町	12.6%	
		大多喜町	12.5%	山武市	11.3%	
		佐倉市	11.5%	長南町	10.8%	
		袖ヶ浦市	11.2%	酒々井町	10.3%	第3次へ
	第3次商圏 (5%以上10%未満)	計 6	6.3%	計 8	8.5%	
		横芝光町	7.0%	君津市	9.8%	
		勝浦市	7.0%	木更津市	9.4%	
		酒々井町	6.7%	長生村	8.7%	第2次へ
	君津市	6.6%	横芝光町	8.0%		
	木更津市	6.2%	鴨川市	8.0%	圏外へ	
	匝瑳市	5.0%	富津市	6.3%	圏外へ	
			匝瑳市	6.1%		
			鋸南町	5.9%	圏外へ	
合計	27	41.5%	30	43.6%		

※大網白里市は、平成24年では大網白里町。

図表4-1-5 千葉商圏（食料品）



図表4-1-6 千葉商圏（飲食）





## 2. 成田商圏（商業中心都市）

### （1）商圏の概要

成田商圏は、印旛ブロックを中心に香取ブロック、海匝ブロック及び山武ブロック北部を取り込んだ県北東部に形成されており、前回調査では10市7町であったが、印西市が圏外となったため、9市7町となった。

第1次商圏は、前回調査と変わらず2市5町となった（吸引率66.3%）

第2次商圏は、前回調査時の7市2町のうち、1市が第3次商圏へ移動し、1市が圏外となったため、5市2町となった。（吸引率19.2%）

第3次商圏は、前回調査時の1市から、1市が第2次商圏から加わり、2市となった。（吸引率6.0%）

商圏人口は、前回調査時（937,210人）から13.1%減少して814,391人（成田市人口の約6.1倍・県人口の13.0%）となった。

商圏内吸引率は、前回調査時（31.6%）から1.6ポイント減少して30.0%となった。

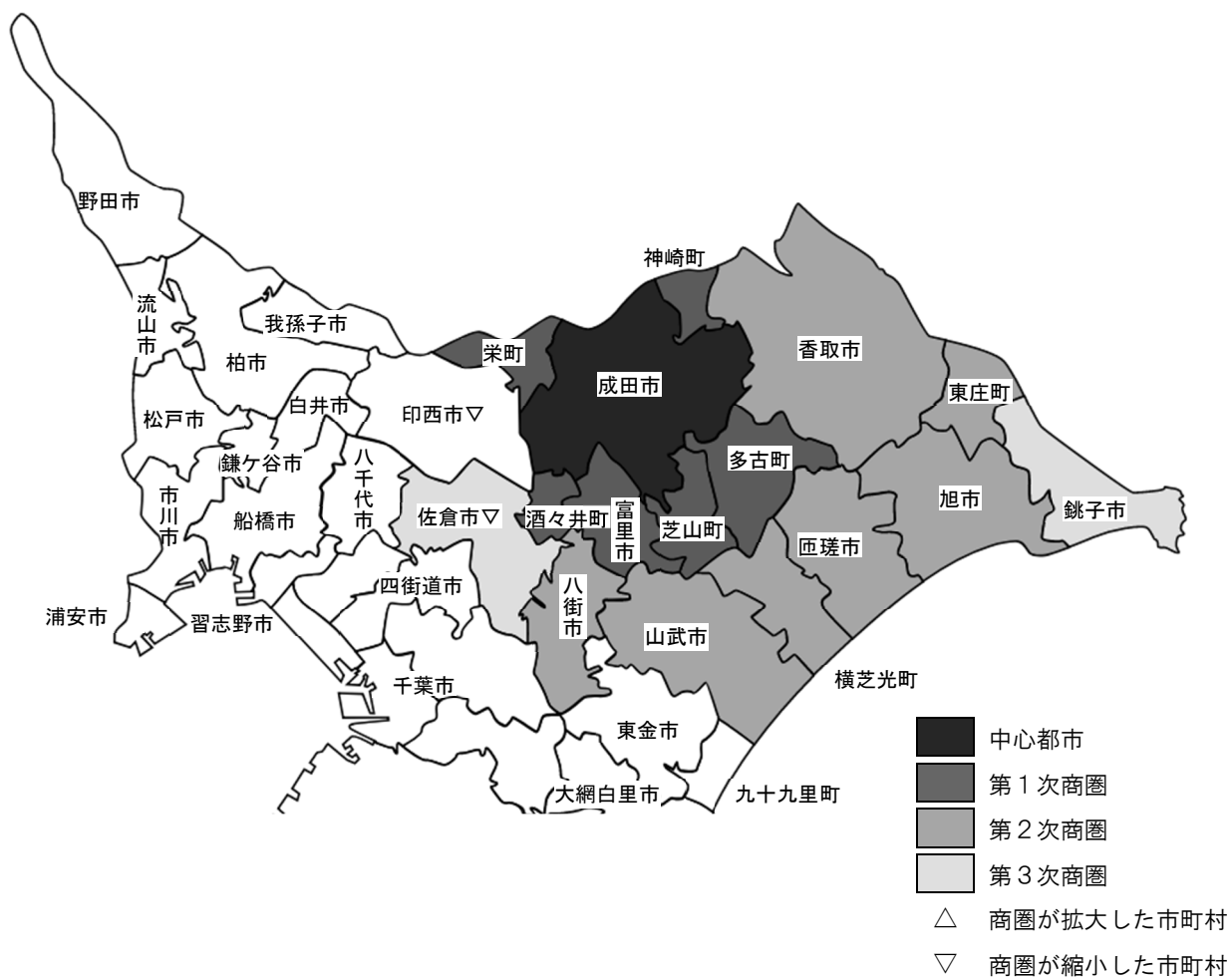
吸引人口は、前回調査時（295,902人）から17.5%減少して244,071人（成田市人口の約1.8倍・県人口の3.9%）となった。

吸引力は、前回調査時（228.0%）から44.2ポイント減少して183.8%となった。

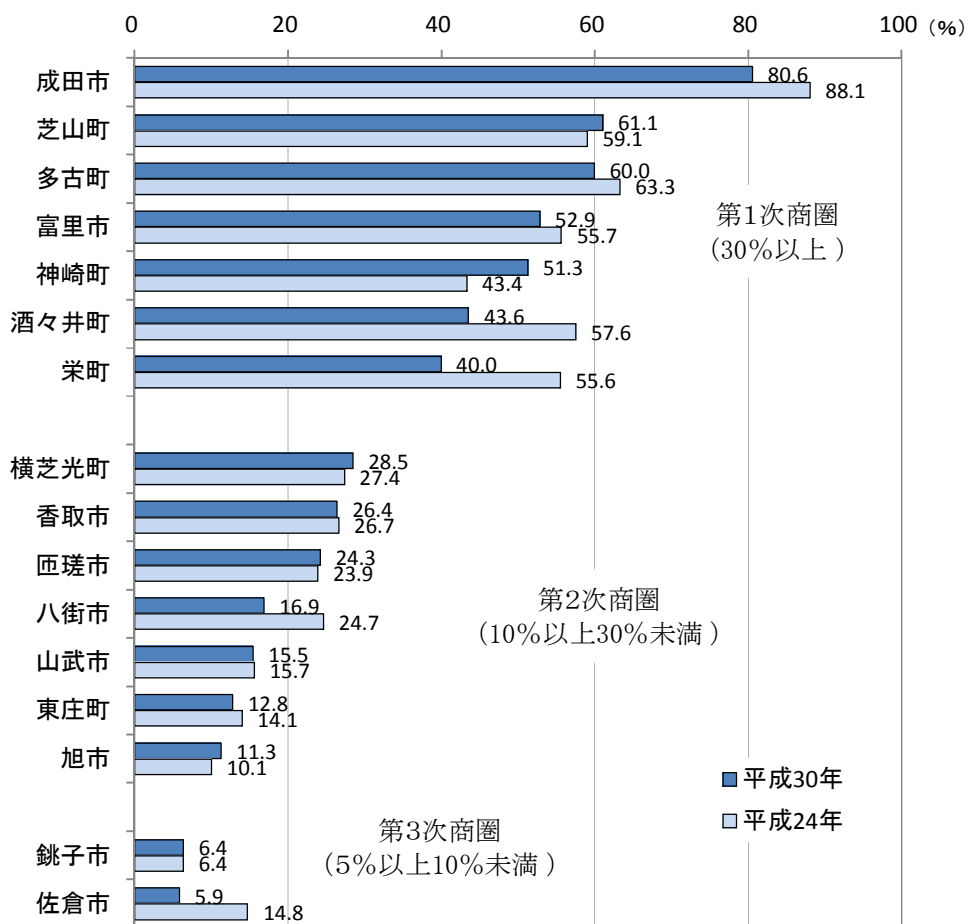
図表4-2-1 成田商圏の市町村別吸引率・商圏人口・吸引人口

商圏 (基準吸引率)	平成30年				前回調査からの 区分の変化	平成24年		
	市町村	市町村 吸引率	市町村 人口 (商圏人口)	吸引人口		市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化
第1次商圏 (30%以上)	計	7	66.3%	251,336	166,682	計	7	72.8%
	成田市		80.6%	132,805	107,041	成田市		88.1%
	芝山町		61.1%	7,196	4,397	多古町		63.3%
	多古町		60.0%	14,237	8,542	芝山町		59.1%
	富里市		52.9%	49,985	26,442	酒々井町		57.6%
	神崎町		51.3%	5,931	3,043	富里市		55.7%
	酒々井町		43.6%	20,672	9,013	栄町		55.6%
	栄町		40.0%	20,510	8,204	神埼町		43.4%
第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	7	19.2%	330,581	63,369	計	9	17.5%
	横芝光町		28.5%	22,922	6,533	横芝光町		27.4%
	香取市		26.4%	74,620	19,700	香取市		26.7%
	匝瑳市		24.3%	35,790	8,697	八街市		24.7%
	八街市		16.9%	68,570	11,588	匝瑳市		23.9%
	山武市		15.5%	50,139	7,772	山武市		15.7%
	東庄町		12.8%	13,609	1,742	佐倉市		14.8%
	旭市		11.3%	64,931	7,337	東庄町		14.1%
						印西市		10.3%
						旭市		10.1%
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	2	6.0%	232,474	14,020	計	1	6.4%
	銚子市		6.4%	60,798	3,891	銚子市		6.4%
	佐倉市		5.9%	171,676	10,129			
合計	16	30.0%	814,391	244,071		17	31.6%	

図表4-2-2 成田商圏（衣料品）



図表4-2-3 成田商圏の吸引状況（市町村別）





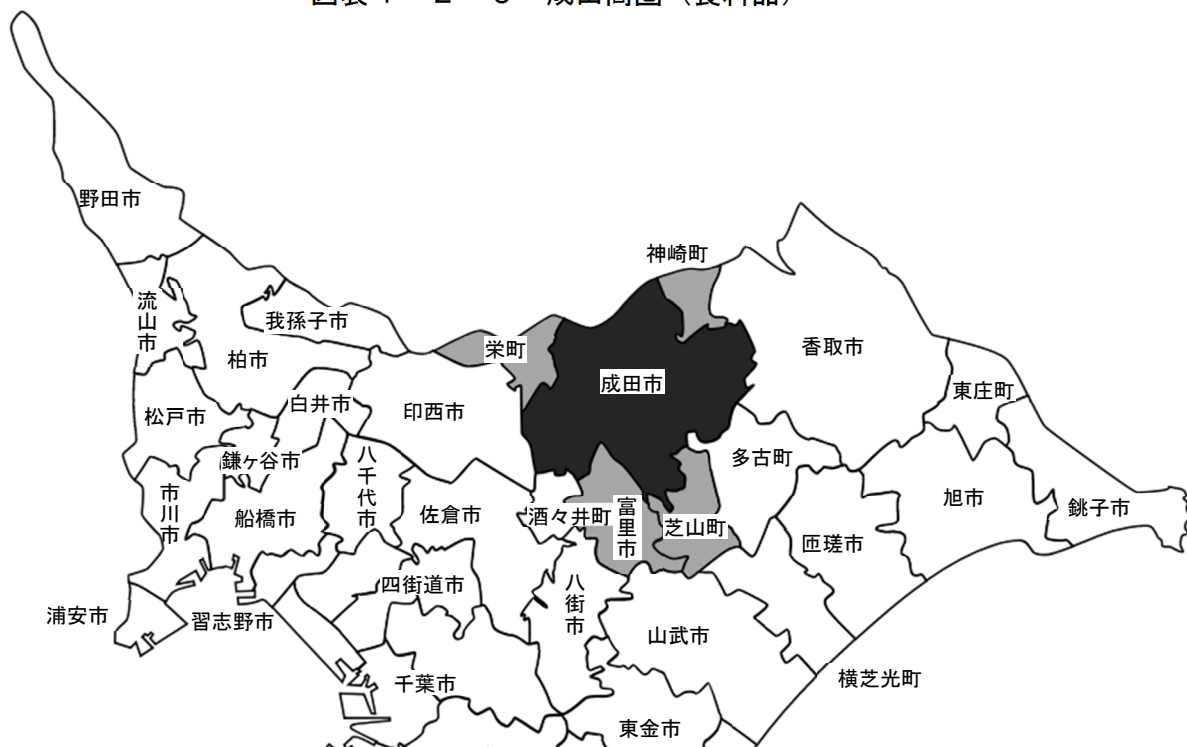
(2) その他品目における商圏内市町村の具体的な変化

その他の品目（食料品・飲食・贈答品）における成田商圏内の市町村の変化を以下に示す。

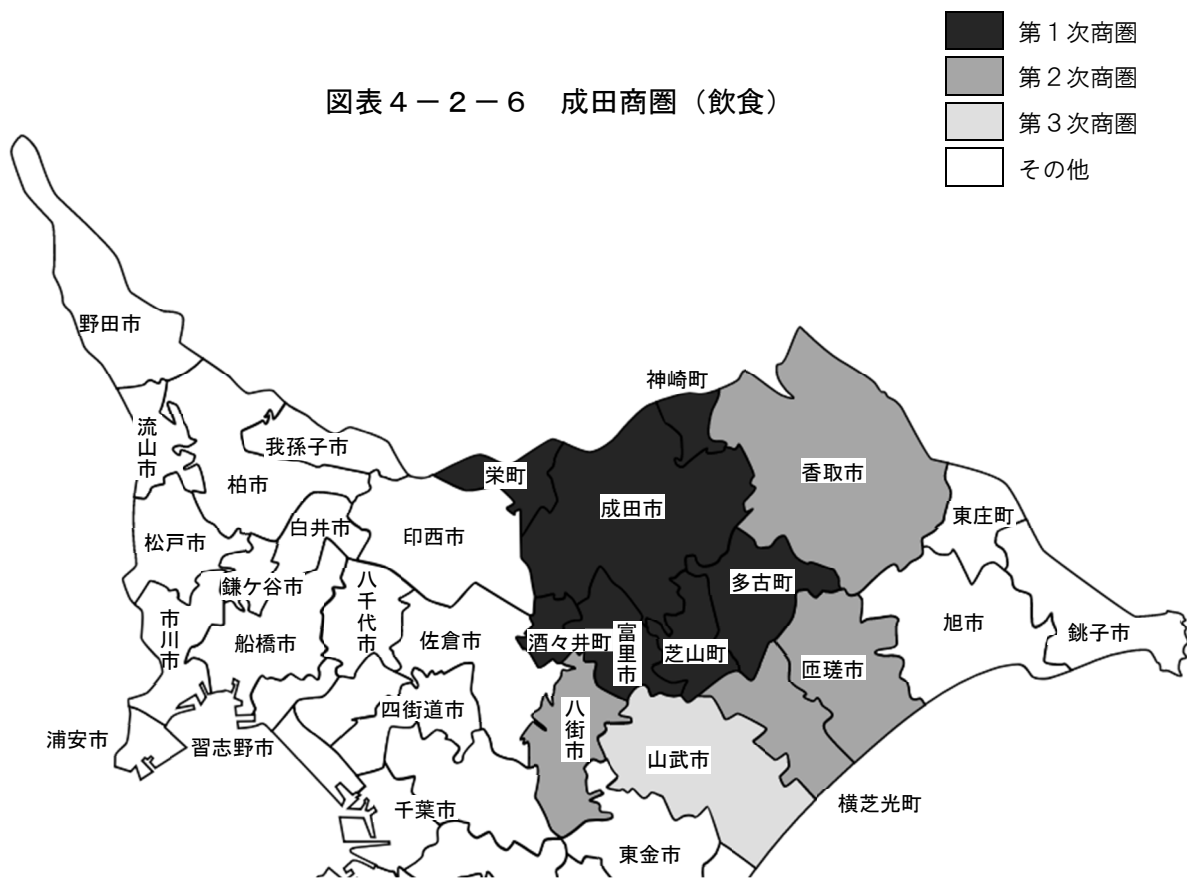
図表4-2-4 成田商圏の市町村の変化（食料品・飲食・贈答品）

商圏 (基準吸引率)	平成30年			平成24年		
	市町村	市町村 吸引率	前回調査から の区分の変化	市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化
食料品	第1次商圏 (30%以上)	計 1	90.1%		計 1	90.5%
		成田市	90.1%		成田市	90.5%
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計 4	12.7%		計 5	14.6%
		芝山町	18.2%		栄町	18.0%
		神崎町	14.2%		富里市	14.3%
		栄町	12.2%		神崎町	13.5%
		富里市	11.9%		酒々井町	13.2%
					芝山町	12.3%
						圏外へ
	第3次商圏 (5%以上10%未満)	計 0			計 1	9.5%
				多古町	9.5%	
合計	5	60.2%		7	53.3%	
飲食	第1次商圏 (30%以上)	計 7	76.8%		計 7	79.7%
		成田市	92.4%		成田市	95.2%
		多古町	66.3%		栄町	74.2%
		神崎町	63.4%		多古町	68.8%
		栄町	60.2%		芝山町	65.4%
		芝山町	60.2%		神崎町	64.4%
		富里市	57.1%		酒々井町	64.1%
		酒々井町	57.0%		富里市	55.9%
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計 4	19.1%		計 5	17.5%
		香取市	21.5%		八街市	23.8%
		横芝光町	20.3%		横芝光町	19.0%
		匝瑳市	17.2%		香取市	18.3%
		八街市	17.1%		印西市	13.8%
					匝瑳市	11.6%
					圏外へ	
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計 1	5.3%		計 2	8.1%	
	山武市	5.3%		山武市	8.9%	
				佐倉市	7.8%	
					圏外へ	
合計	12	46.5%		14	35.8%	
贈答品	第1次商圏 (30%以上)	計 8	63.6%		計 7	77.9%
		成田市	76.7%		成田市	87.3%
		芝山町	62.4%		芝山町	84.4%
		多古町	62.2%		栄町	69.2%
		富里市	55.5%		神崎町	69.0%
		神崎町	54.3%		酒々井町	68.1%
		酒々井町	53.4%		富里市	66.0%
		栄町	47.7%		多古町	64.1%
		横芝光町	32.5%	第2次から		
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計 5	22.4%		計 7	18.7%
		香取市	28.9%		香取市	29.7%
		匝瑳市	26.8%		横芝光町	26.3%
		八街市	21.0%		匝瑳市	25.5%
		山武市	13.7%		八街市	24.7%
		東庄町	13.4%	第3次から	佐倉市	13.9%
					山武市	12.5%
					印西市	12.1%
						圏外へ
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計 1	7.6%		計 2	8.3%	
	旭市	7.6%		旭市	8.4%	
				東庄町	7.7%	
					第2次へ	
合計	14	40.1%		16	34.9%	

図表4-2-5 成田商圏（食料品）

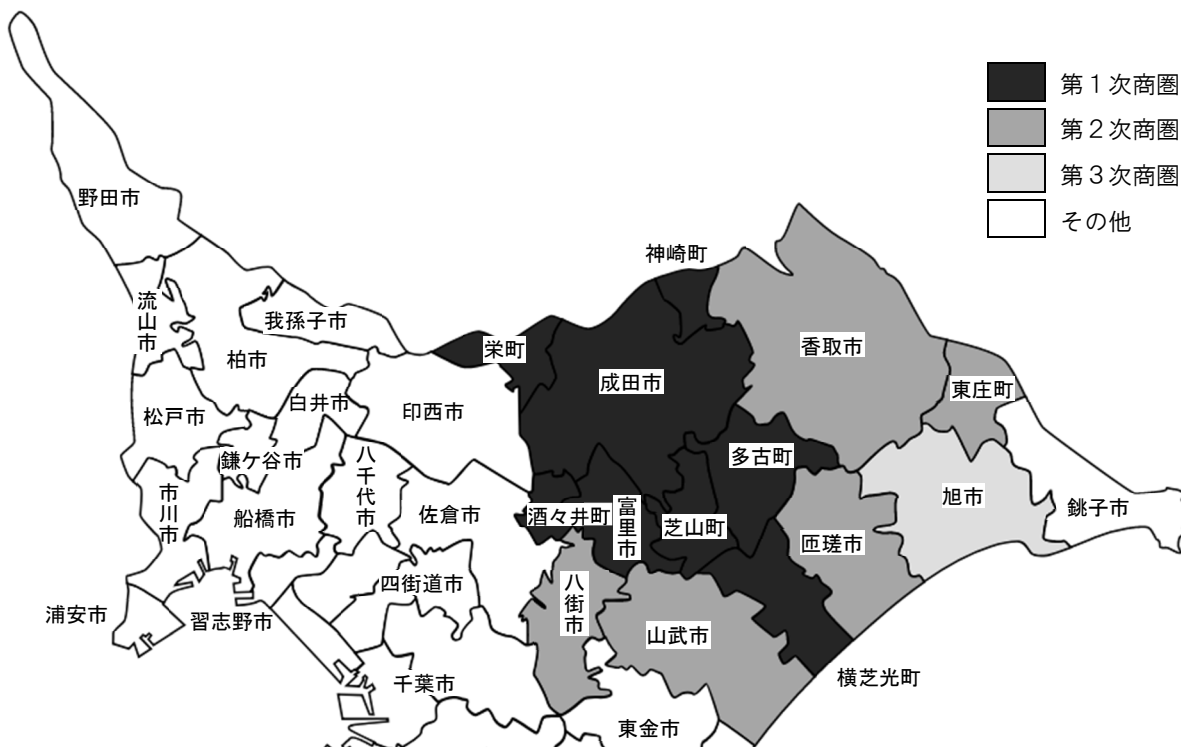


図表4-2-6 成田商圏（飲食）



- 第1次商圏
- 第2次商圏
- 第3次商圏
- その他

図表4-2-7 成田商圏（贈答品）



### 3. 印西商圏（商業中心都市）

#### (1) 商圏の概要

印西商圏は、印旛ブロック西部に東葛ブロックの東部を取り込んで形成されており、前回調査時の4市1町から鎌ヶ谷市が加わり、5市1町となった。

第1次商圏は、前回調査と変わらず2市となった。（吸引率66.8%）

第2次商圏も前回調査と変わらず1市1町となった。（吸引率17.9%）

第3次商圏は、前回調査時の1市から、新たに圏外から1市が加わり、2市となった。（吸引率6.9%）

商圏人口は、前回調査時（478,039人）から24.0%増加して593,001人（印西市人口の約6.0倍・県人口の9.5%）となった。

商圏内吸引率は、前回調査時（29.9%）から4.0ポイント減少して25.9%となった。

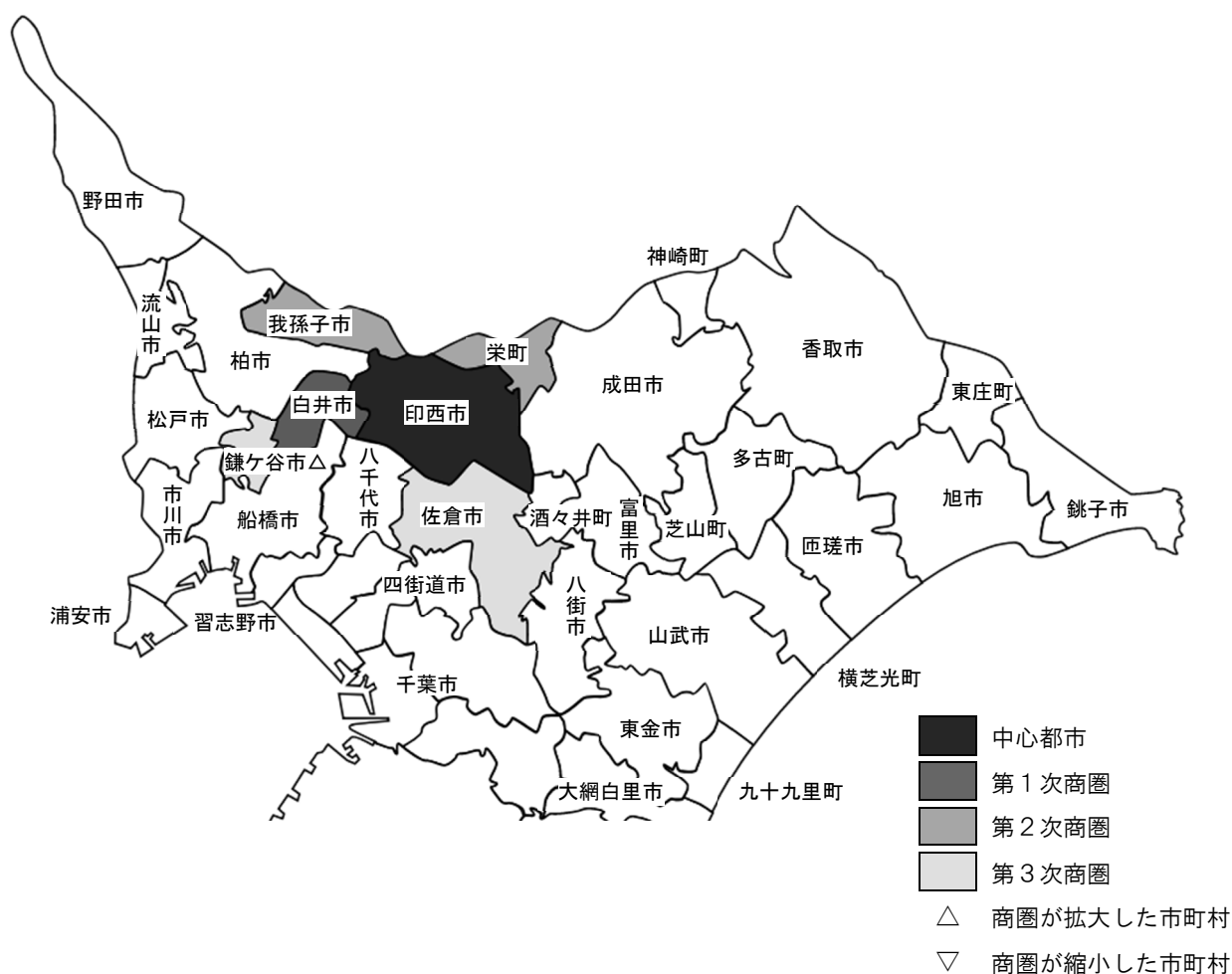
吸引人口は、前回調査時（142,827人）から7.7%増加して153,784人（印西市人口の約1.6倍・県人口の2.5%）となった。

吸引力は、前回調査時（158.4%）から1.6ポイント減少して156.8%となった。

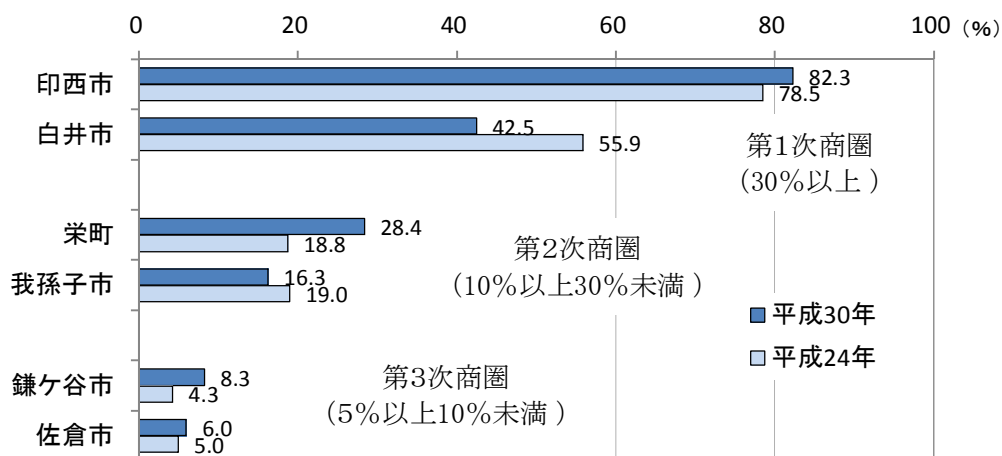
図表4-3-1 印西商圏の市町村別吸引率・商圏人口・吸引人口

商圏 (基準吸引率)	平成30年				前回調査からの 区分の変化	平成24年		
	市町村	市町村 吸引率	市町村 人口 (商圏人口)	吸引人口		市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化
第1次商圏 (30%以上)	計	2	66.8%	160,440	107,225	計	2	69.4%
	印西市		82.3%	98,085	80,724	印西市		78.5%
	白井市		42.5%	62,355	26,501	白井市		55.9%
第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	2	17.9%	151,542	27,183	計	2	19.0%
	栄町		28.4%	20,510	5,825	我孫子市		19.0%
	我孫子市		16.3%	131,032	21,358	栄町		18.8%
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	2	6.9%	281,019	19,376	計	1	5.0%
	鎌ヶ谷市		8.3%	109,343	9,075	佐倉市		5.0%
	佐倉市		6.0%	171,676	10,301			
合計		6	25.9%	593,001	153,784		5	29.9%

図表4-3-2 印西商圏（衣料品）



図表4-3-3 印西商圏の吸引状況（市町村別）



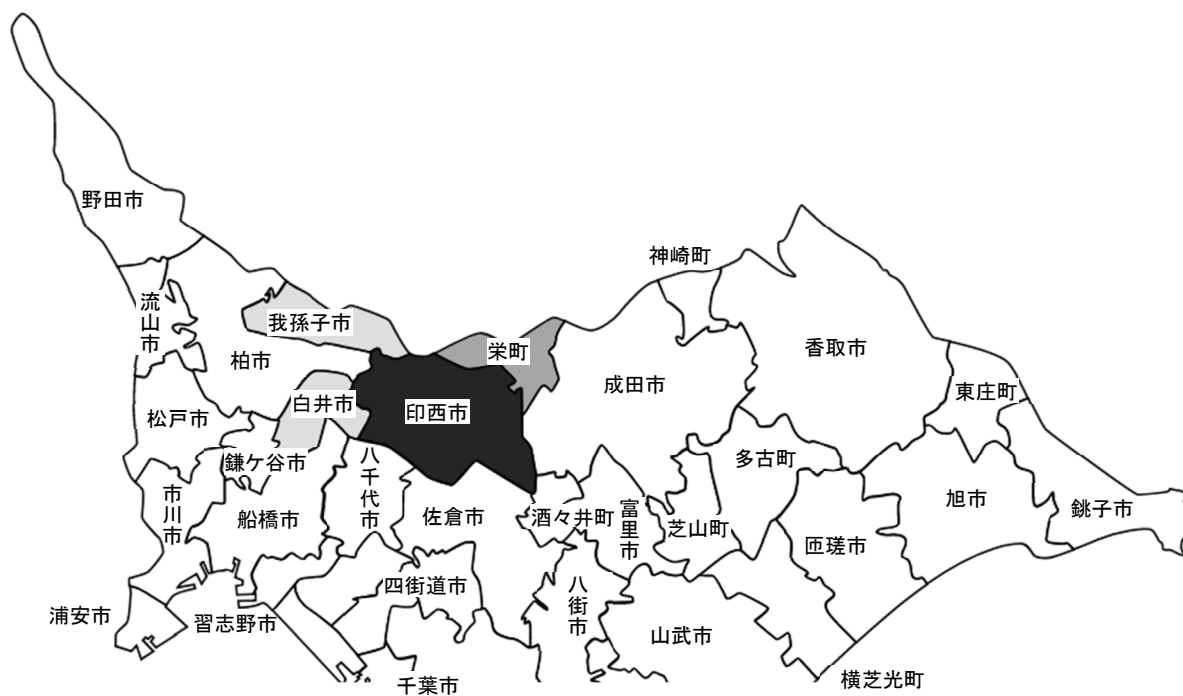
(2) その他品目における商圈内市町村の具体的な変化

その他の品目（食料品・飲食・贈答品）における印西商圈内の市町村の変化を以下に示す。

図表4-3-4 印西商圈の市町村の変化（食料品・飲食・贈答品）

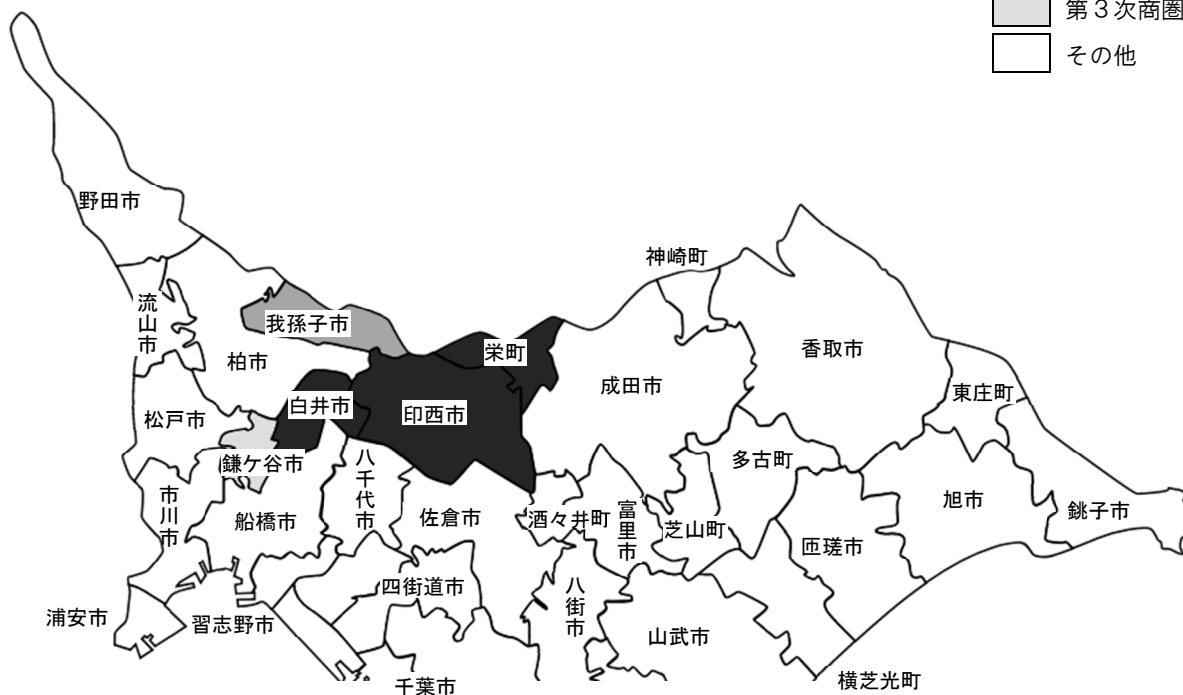
商圈 (基準吸引率)	平成30年			平成24年		
	市町村	市町村 吸引率	前回調査から の区分の変化	市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化
食料品	第1次商圈 (30%以上)	計 1	98.0%		計 1	84.1%
		印西市	98.0%		印西市	84.1%
	第2次商圈 (10%以上30%未満)	計 1	16.7%		計 1	18.8%
		栄町	16.7%	第3次から	白井市	18.8%
						第3次へ
第3次商圈 (5%以上10%未満)	計 2	8.2%		計 2	7.6%	
	白井市	9.8%	第2次から	栄町	8.5%	
	我孫子市	7.4%		我孫子市	7.5%	
合計		4	37.0%		4	32.4%
飲食	第1次商圈 (30%以上)	計 3	66.1%		計 2	64.1%
		印西市	94.4%		印西市	78.7%
		栄町	34.3%	第2次から	白井市	42.5%
		白井市	32.1%			
	第2次商圈 (10%以上30%未満)	計 1	14.0%		計 2	17.5%
	我孫子市	14.0%		栄町	17.7%	
				我孫子市	17.5%	
第3次商圈 (5%以上10%未満)	計 1	7.1%		計 0		
	鎌ヶ谷市	7.1%	新規			
合計		5	34.6%		4	40.6%
贈答品	第1次商圈 (30%以上)	計 1	57.5%		計 2	50.9%
		印西市	57.5%		印西市	60.7%
					白井市	36.4%
						第2次へ
	第2次商圈 (10%以上30%未満)	計 2	25.9%		計 2	11.7%
	白井市	26.0%	第1次から	我孫子市	11.8%	
	栄町	25.7%		栄町	10.8%	
第3次商圈 (5%以上10%未満)	計 2	8.3%		計 0		
	我孫子市	9.3%	第2次から			
	鎌ヶ谷市	7.1%	新規			
合計		5	23.2%		4	31.1%

図表4-3-5 印西商圏（食料品）

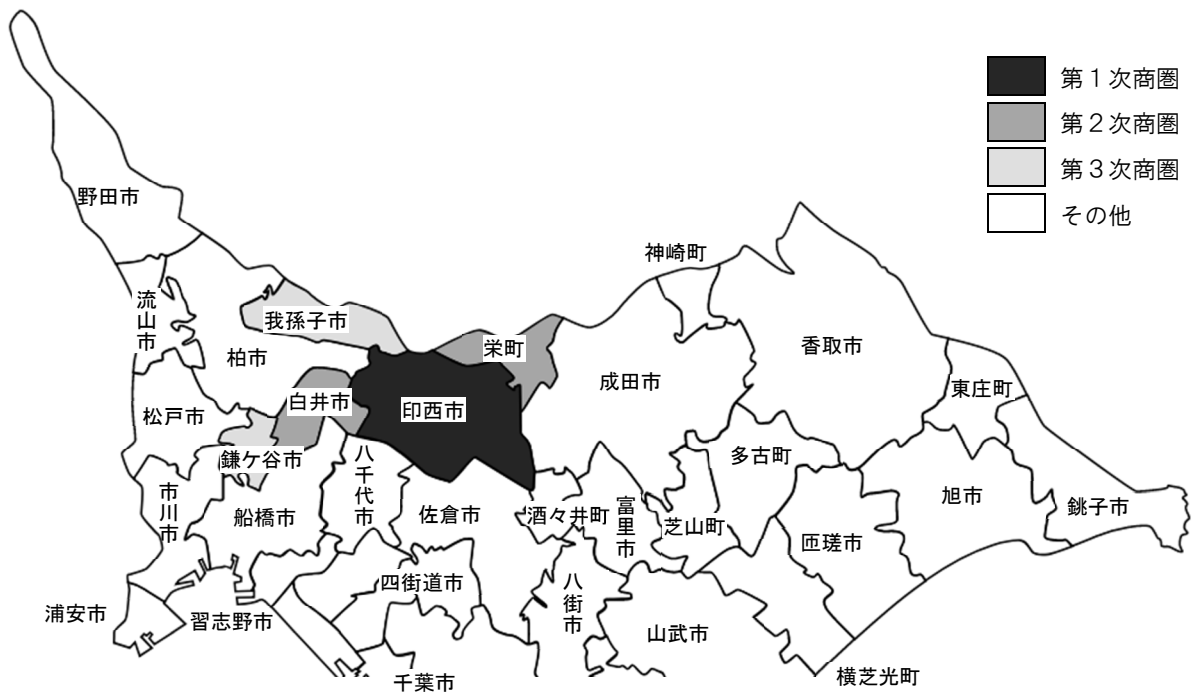


- 第1次商圏
- 第2次商圏
- 第3次商圏
- その他

図表4-3-6 印西商圏（飲食）



図表4-3-7 印西商圏（贈答品）





## 4. 船橋商圏（商業中心都市）

### （1）商圏の概要

船橋商圏は、葛南ブロックを中心に千葉ブロック北部、東葛ブロック南部及び印旛ブロック西部を取り込んで形成されており、前回調査時の7市から、一宮町が加わり白井市が圏外となり、6市1町となった。

第1次商圏は、前回調査と変わらず、船橋市1市となった。（吸引率82.2%）

第2次商圏も前回調査と変わらず3市となった。（吸引率24.0%）

第3次商圏は、前回調査時の3市から、1町が加わり1市が圏外となり、2市1町となった。（吸引率7.0%）

商圏人口は、前回調査時（1,769,317人）から1.1%増加して、1,788,176人（船橋市人口の約2.8倍・県人口の28.5%）となった。

商圏内吸引率は、前回調査時（37.4%）から3.7ポイント増加して41.1%となった。

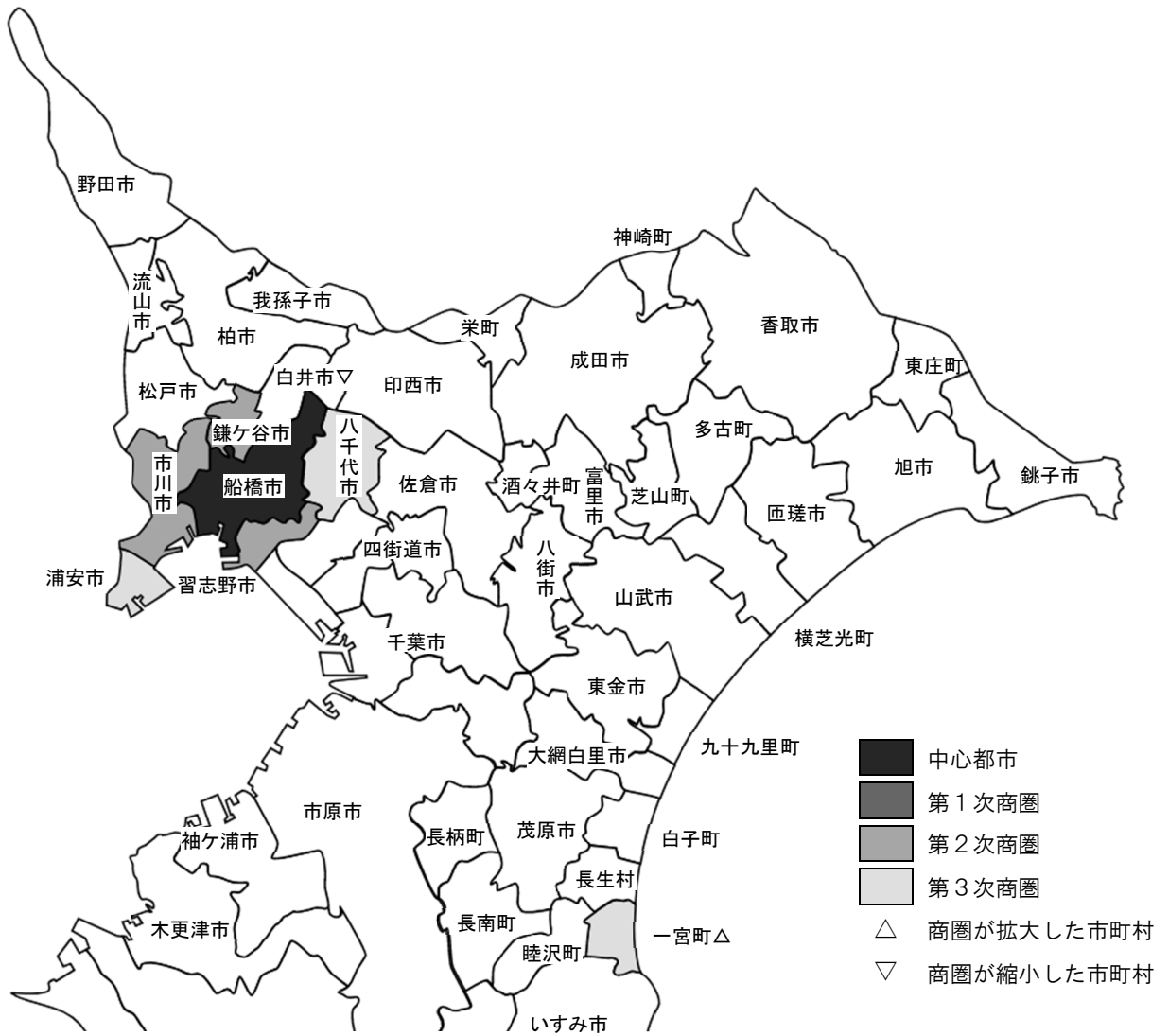
吸引人口は、前回調査時（660,907人）から11.2%増加して734,612人（船橋市人口の約1.2倍・県人口の11.7%）となった。

吸引力は、前回調査時（108.0%）から7.6ポイント増加して115.6%となった。

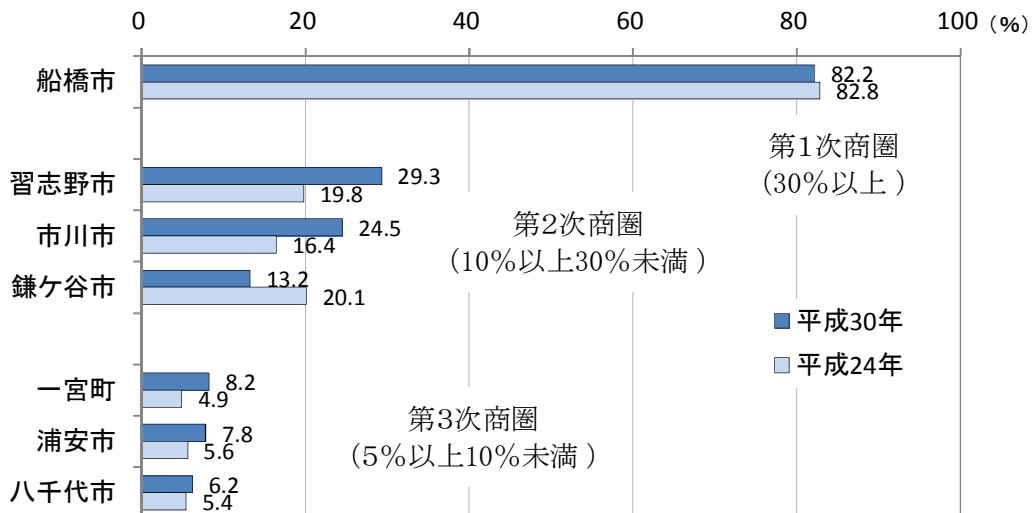
図表4-4-1 船橋商圏の市町村別吸引率・商圏人口・吸引人口

商圏 (基準吸引率)	平成30年					平成24年		
	市町村	市町村 吸引率	市町村 人口 (商圏人口)	吸引人口	前回調査から の区分の変化	市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化
第1次商圏 (30%以上)	計	1	82.2%	635,665	522,517	計	1	82.8%
	船橋市		82.2%	635,665	522,517	船橋市		82.8%
第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	3	24.0%	774,594	185,715	計	3	17.7%
	習志野市		29.3%	172,811	50,634	鎌ヶ谷市		20.1%
	市川市		24.5%	492,440	120,648	習志野市		19.8%
	鎌ヶ谷市		13.2%	109,343	14,433	市川市		16.4%
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	3	7.0%	377,917	26,380	計	3	5.5%
	一宮町		8.2%	11,799	968	浦安市		5.6%
	浦安市		7.8%	169,526	13,223	八千代市		5.4%
	八千代市		6.2%	196,592	12,189	白井市		5.4%
合計	7	41.1%	1,788,176	734,612		7	37.4%	圏外へ

図表4-4-2 船橋商圏（衣料品）



図表4-4-3 船橋商圏の吸引状況（市町村別）



(2) その他品目における商圏内市町村の具体的な変化

その他の品目（食料品・飲食・贈答品）における船橋商圏内の市町村の変化を以下に示す。

図表4-4-4 船橋商圏の市町村の変化（食料品・飲食・贈答品）

商圏 (基準吸引率)	平成30年			平成24年			
	市町村	市町村 吸引率	前回調査から の区分の変化	市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化	
食料品	第1次商圏 (30%以上)	計 1 船橋市	90.5%		計 1 船橋市	93.2%	
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計 0			計 0		
	第3次商圏 (5%以上10%未満)	計 2 習志野市 市川市	7.8%		計 1 鎌ヶ谷市	8.8%	圏外へ
				新規			
				新規			
合計	3	48.2%		2	80.4%		
飲食	第1次商圏 (30%以上)	計 1 船橋市	90.5%		計 1 船橋市	88.7%	
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計 2 習志野市 鎌ヶ谷市	18.9%		計 2 習志野市 鎌ヶ谷市	14.6%	
	第3次商圏 (5%以上10%未満)	計 1 市川市	8.5%		計 1 市川市	6.7%	
			8.5%			6.7%	
	合計	4	47.5%		4	45.3%	
贈答品	第1次商圏 (30%以上)	計 3 船橋市 習志野市 鎌ヶ谷市	62.3%		計 3 船橋市 鎌ヶ谷市 習志野市	66.5%	
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計 3 市川市 八千代市 白井市	21.4%		計 3 市川市 白井市 八千代市	16.5%	
	第3次商圏 (5%以上10%未満)	計 0			計 1 佐倉市	5.8%	圏外へ
						5.8%	
	合計	6	43.9%		7	40.4%	

第4章 主要商圏の構造

図表4-4-5 船橋商圏（食料品）



図表4-4-6 船橋商圏（飲食）



図表4-4-7 船橋商圏（贈答品）



- 第1次商圏
- 第2次商圏
- 第3次商圏
- その他

## 5. 柏商圏（商業中心都市）

### （1）商圏の概要

柏商圏は、東葛ブロッカー帯、印旛ブロック西部を取り込んだ県北西部に形成されており、前回調査時の5市から白井市が加わって6市となった。

第1次商圏は、前回調査時の柏市1市から第2次商圏だった2市が加わり、3市となった。（吸引率67.4%）

第2次商圏は、前回調査時の2市が第1次商圏へ移動し、第3次商圏から1市、圏外から1市が加わった結果、入れ替わった形での2市となった。（吸引率12.2%）

第3次商圏は、前回調査では2市であったが、1市が第2次商圏へ移動したため、1市となった。（吸引率5.0%）

商圏人口は、前回調査時（1,340,684人）から8.1%増加して1,448,645人（柏市人口の約3.4倍・県人口の23.1%）となった。

商圏内吸引率は、前回調査時（35.4%）から4.4ポイント増加して39.8%となった。

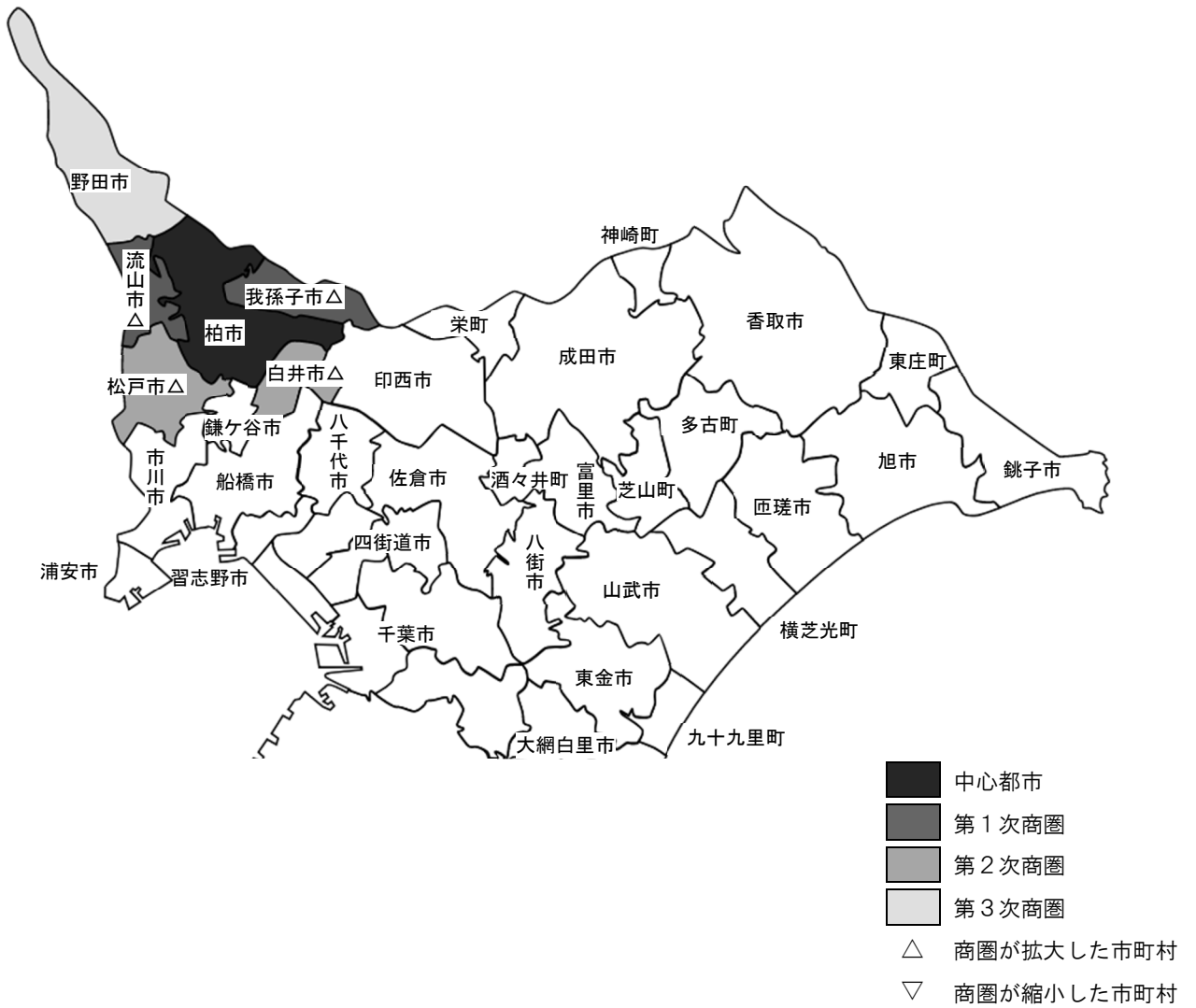
吸引人口は、前回調査時（474,186人）から21.5%増加して575,954人（柏市人口の約1.4倍・県人口の9.2%）となった。

吸引力は、前回調査時（117.2%）から18.7ポイント増加して135.9%となった。

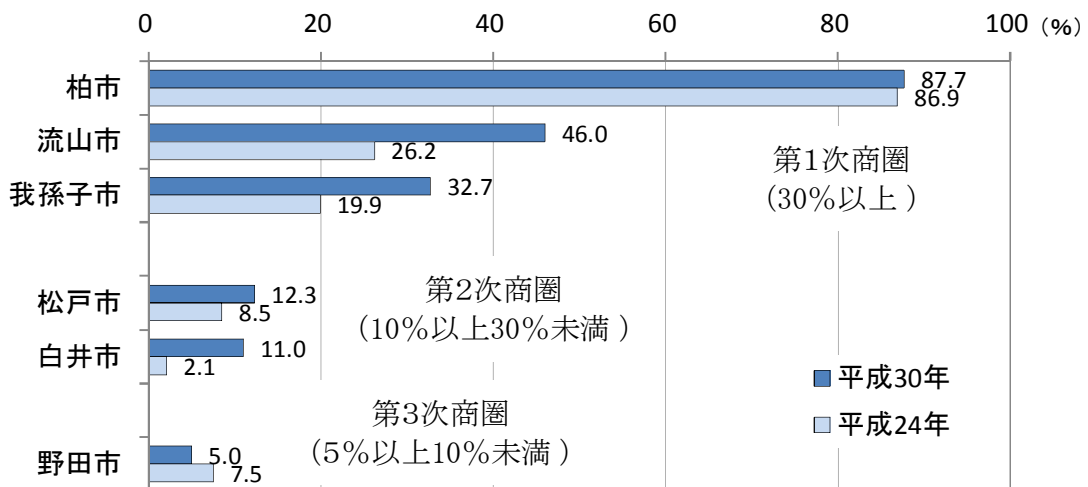
図表4-5-1 柏商圏の市町村別吸引率・商圏人口・吸引人口

商圏 (基準吸引率)	平成30年				前回調査からの 区分の変化	平成24年		
	市町村	市町村 吸引率	市町村 人口 (商圏人口)	吸引人口		市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化
第1次商圏 (30%以上)	計	3	67.4%	743,141	501,136	計	1	86.9%
	柏市		87.7%	423,787	371,661	柏市		86.9%
	流山市		46.0%	188,322	86,628			
	我孫子市		32.7%	131,032	42,847			
第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	2	12.2%	552,797	67,183	計	2	23.4%
	松戸市		12.3%	490,442	60,324	流山市		26.2%
	白井市		11.0%	62,355	6,859	我孫子市		19.9%
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	1	5.0%	152,707	7,635	計	2	8.3%
	野田市		5.0%	152,707	7,635	松戸市		8.5%
合計		6	39.8%	1,448,645	575,954	野田市		7.5%
						計	5	35.4%

図表4-5-2 柏商圏（衣料品）



図表4-5-3 柏商圏の吸引状況（市町村別）



(2) その他品目における商圏内市町村の具体的な変化

その他の品目（食料品・飲食・贈答品）における柏商圏内の市町村の変化を以下に示す。

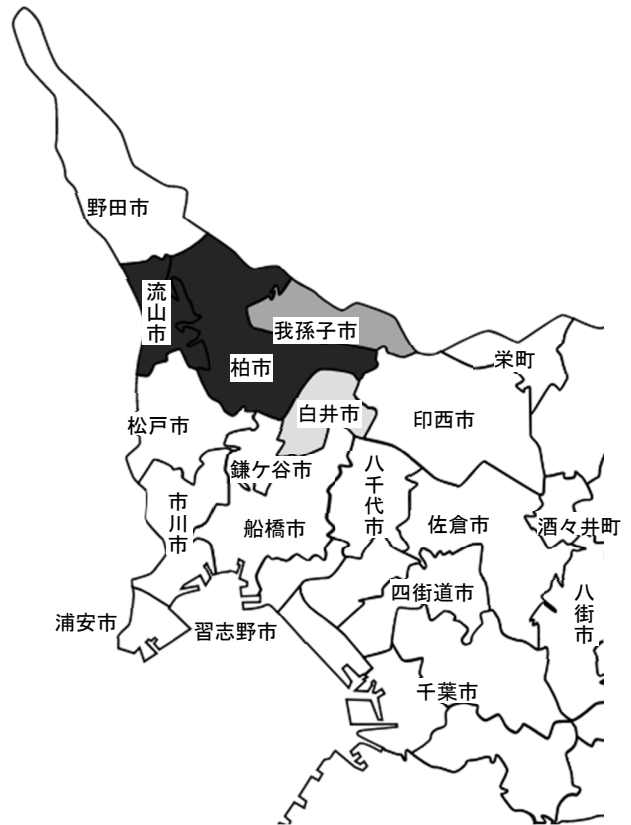
図表4-5-4 柏商圏の市町村の変化（食料品・飲食・贈答品）

商圏 (基準吸引率)	平成30年			平成24年		
	市町村	市町村 吸引率	前回調査から の区分の変化	市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化
食料品	第1次商圏 (30%以上)	計 1	96.0%		計 1	92.4%
		柏市	96.0%		柏市	92.4%
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計 1	20.9%		計 0	
		流山市	20.9%	新規		
	第3次商圏 (5%以上10%未満)	計 0			計 1	5.1%
				我孫子市	5.1%	圏外へ
合計	2	72.9%		2	70.8%	
飲食	第1次商圏 (30%以上)	計 2	78.4%		計 1	93.6%
		柏市	93.0%		柏市	93.6%
		流山市	45.6%	第2次から		
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計 1	17.6%		計 2	22.7%
		我孫子市	17.6%		流山市	26.2%
				我孫子市	18.3%	
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計 1	6.7%		計 1	7.0%	
	白井市	6.7%	新規	野田市	7.0%	圏外へ
合計	4	63.0%		4	53.2%	
贈答品	第1次商圏 (30%以上)	計 3	70.5%		計 3	71.6%
		柏市	82.0%		柏市	88.5%
		流山市	58.9%		流山市	53.0%
		我孫子市	49.8%		我孫子市	43.7%
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計 4	19.1%		計 3	14.0%
		松戸市	21.8%		野田市	21.0%
		白井市	15.7%		松戸市	12.2%
		野田市	15.6%		白井市	10.0%
		印西市	13.0%	第3次から		
	第3次商圏 (5%以上10%未満)	計 1	6.4%		計 1	6.3%
	鎌ヶ谷市	6.4%	新規	印西市	6.3%	第2次へ
合計	8	41.3%		7	40.7%	

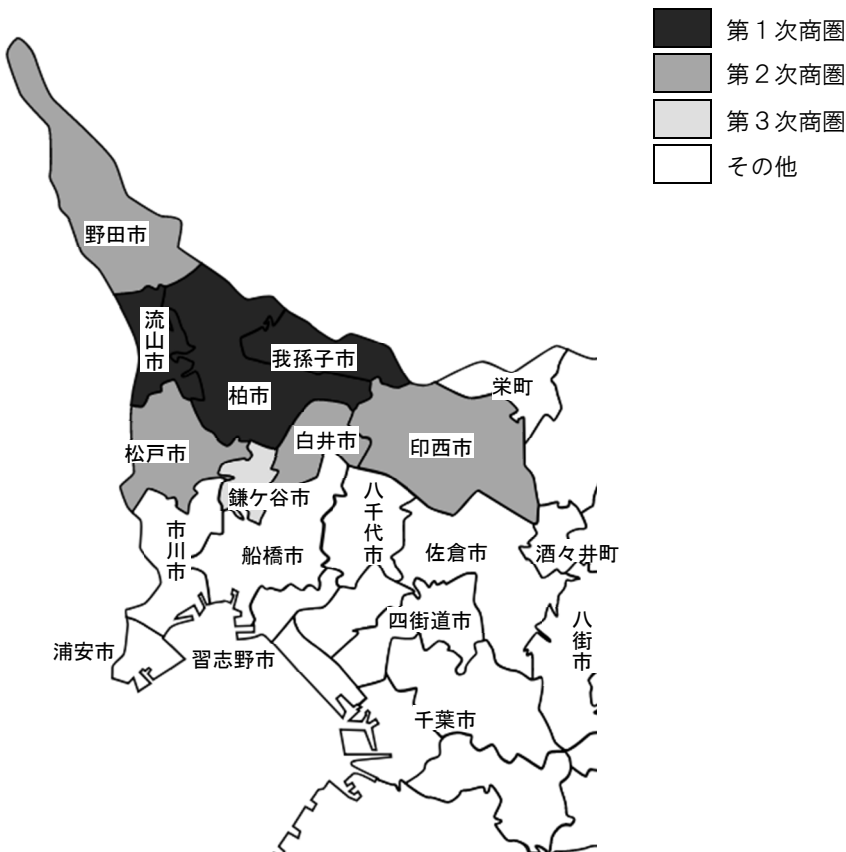
図表4-5-5 柏商圏（食料品）



図表4-5-6 柏商圏（飲食）



図表4-5-7 柏商圏（贈答品）





## 6. 木更津商圏（準商業中心都市）

### （1）商圏の概要

木更津商圏は、君津ブロック、安房ブロックに夷隅ブロック西部を取り込んだ県南西部に形成されており、前回調査時の5市から2市2町が加わり、7市2町となった。

第1次商圏は、前回調査では3市であったが、第3次商圏から1市が加わり、4市となった。（吸引率63.8%）

第2次商圏は、前回調査では該当する市町村はなかったが、第3次商圏から1市、圏外から1町が加わり、1市1町となった。（吸引率25.8%）

第3次商圏は、前回調査時の2市が第1次商圏、第2次商圏へそれぞれ移動し、圏外から2市1町が加わった。（吸引率8.9%）

商圏人口は、前回調査時（361,541人）から26.7%増加して458,139人（木更津市人口の約3.4倍・県人口の7.3%）となった。

商圏内吸引率は、前回調査時（46.6%）から2.8ポイント増加して49.4%となった。

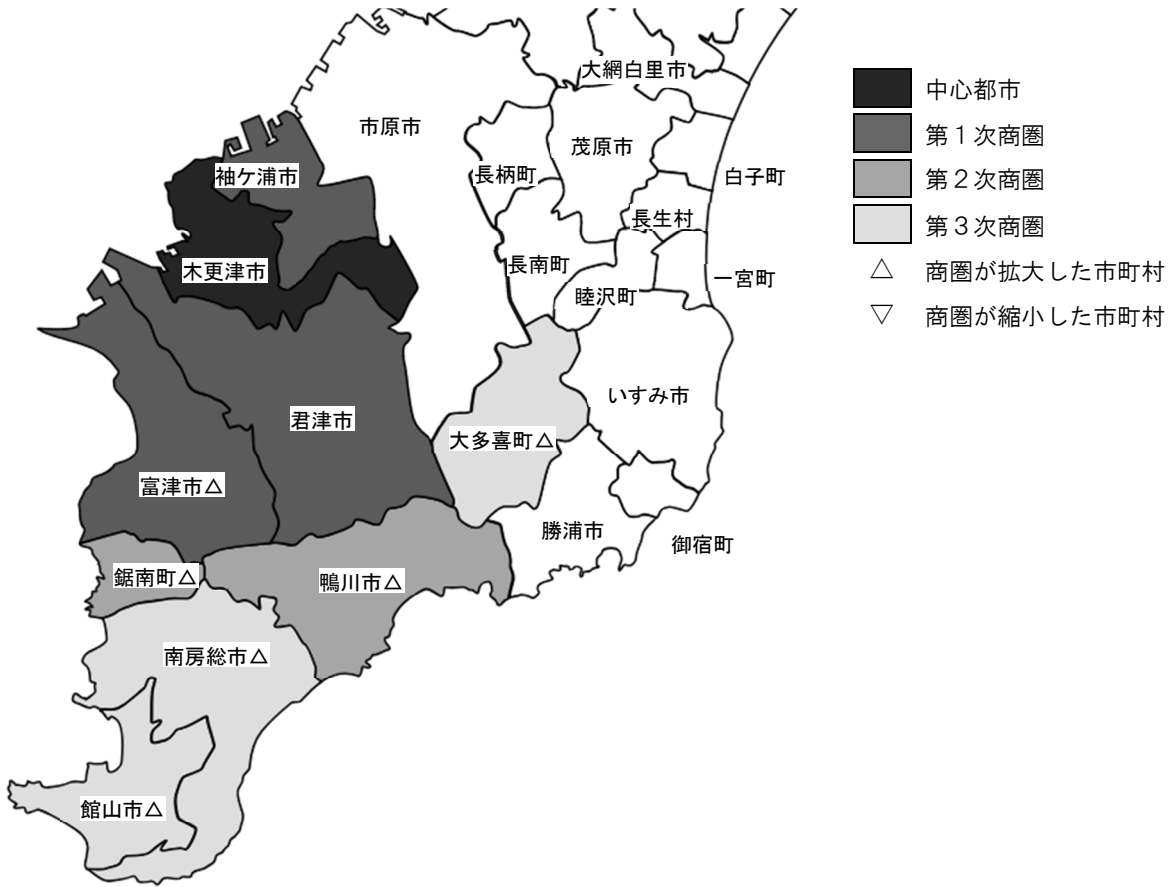
吸引人口は、前回調査時（168,423人）から34.3%増加して226,258人（木更津市人口の約1.7倍・県人口の3.6%）となった。

吸引力は、前回調査時（129.1%）から38.1ポイント増加して167.2%となった。

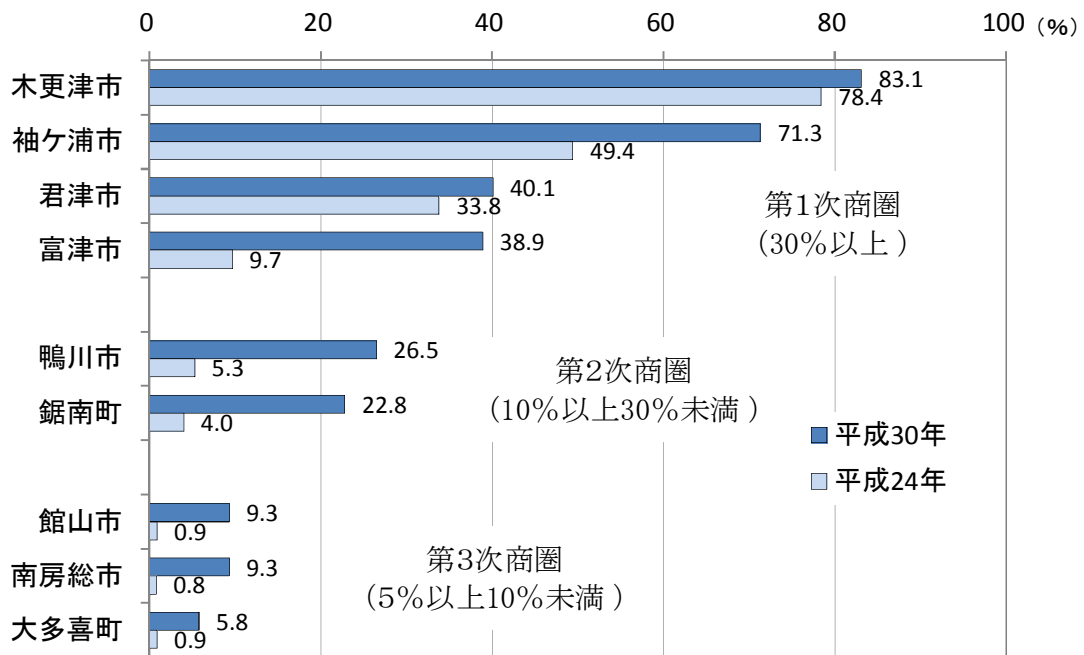
図表4-6-1 木更津商圏の市町村別吸引率・商圏人口・吸引人口

商圏 (基準吸引率)	平成30年					平成24年		
	市町村	市町村 吸引率	市町村 人口 (商圏人口)	吸引人口	前回調査から の区分の変化	市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化
第1次商圏 (30%以上)	計	4	63.8%	325,352	207,585	計	3	58.0%
	木更津市		83.1%	135,304	112,438	木更津市		78.4%
	袖ヶ浦市		71.3%	62,393	44,486	袖ヶ浦市		49.4%
	君津市		40.1%	83,659	33,547	君津市		33.8%
	富津市		38.9%	43,996	17,114			
第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	2	25.8%	40,298	10,398	計	0	
	鴨川市		26.5%	32,701	8,666			
	鋸南町		22.8%	7,597	1,732			
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	3	8.9%	92,489	8,275	計	2	7.8%
	館山市		9.3%	46,011	4,279	富津市		9.7%
	南房総市		9.3%	37,152	3,455	鴨川市		5.3%
	大多喜町		5.8%	9,326	541			
合計	9	49.4%	458,139	226,258		5	46.6%	

図表4-6-2 木更津商圏（衣料品）



図表4-6-3 木更津商圏の吸引状況（市町村別）



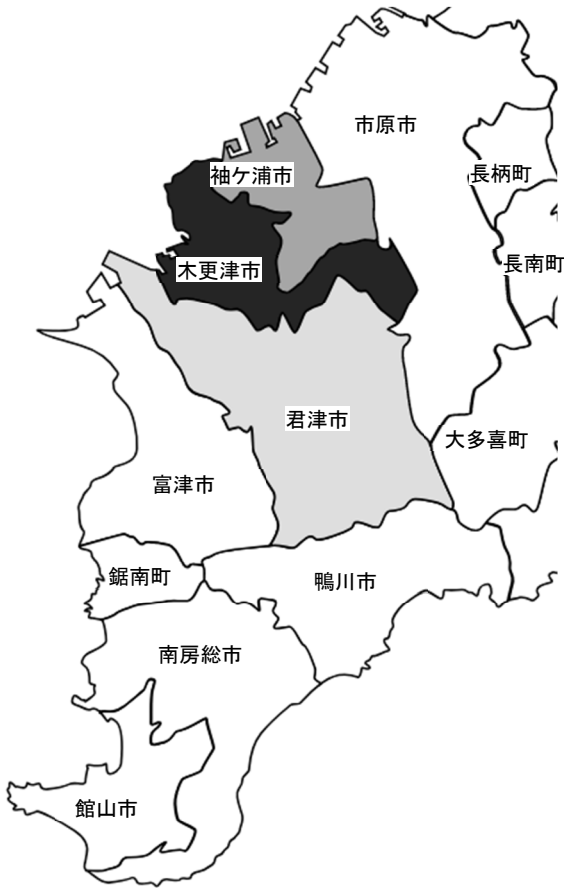
(2) その他品目における商圏内市町村の具体的な変化

その他の品目（食料品・飲食・贈答品）における木更津商圏内の市町村の変化を以下に示す。

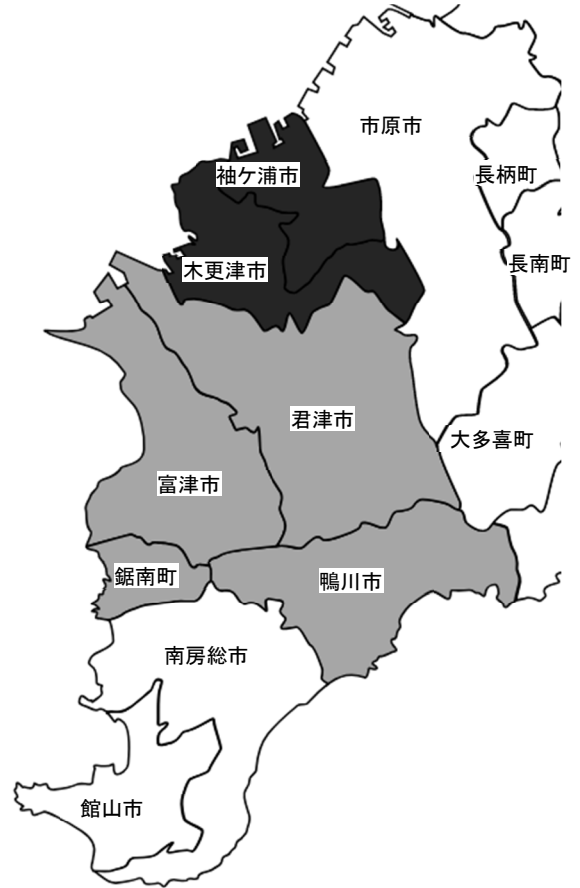
図表4-6-4 木更津商圏の市町村の変化（食料品・飲食・贈答品）

商圏 (基準吸引率)	平成30年			平成24年		
	市町村	市町村 吸引率	前回調査から の区分の変化	市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化
食料品	第1次商圏 (30%以上)	計 1	84.0%		計 1	90.2%
		木更津市	84.0%		木更津市	90.2%
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計 1	23.7%		計 2	17.1%
		袖ヶ浦市	23.7%		袖ヶ浦市	17.9%
					君津市	16.6%
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計 1	7.4%	第2次から	計 1	5.3%	
	君津市	7.4%		富津市	5.3%	
合計		3	47.9%		4	44.6%
飲食	第1次商圏 (30%以上)	計 2	77.1%		計 3	64.0%
		木更津市	85.0%		木更津市	85.8%
		袖ヶ浦市	59.9%		袖ヶ浦市	48.7%
					君津市	42.3%
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計 4	25.4%		計 1	13.2%
	富津市	29.4%	第1次から	富津市	13.2%	
	君津市	28.8%	新規			
	鋸南町	17.9%	第3次から			
	鴨川市	13.1%				
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計 0			計 1	5.3%	
				鴨川市	5.3%	
合計		6	53.3%		5	51.7%
贈答品	第1次商圏 (30%以上)	計 4	54.1%		計 3	52.8%
		木更津市	70.2%		木更津市	70.4%
		袖ヶ浦市	52.9%		袖ヶ浦市	41.5%
		富津市	38.2%	第2次から	君津市	34.5%
		君津市	37.4%			
第2次商圏 (10%以上30%未満)	計 2	12.4%		計 1	12.3%	
	鴨川市	12.7%	新規	富津市	12.3%	
	鋸南町	11.1%	新規			
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計 1	6.1%	新規	計 0		
	南房総市	6.1%				
合計		7	45.5%		4	46.9%

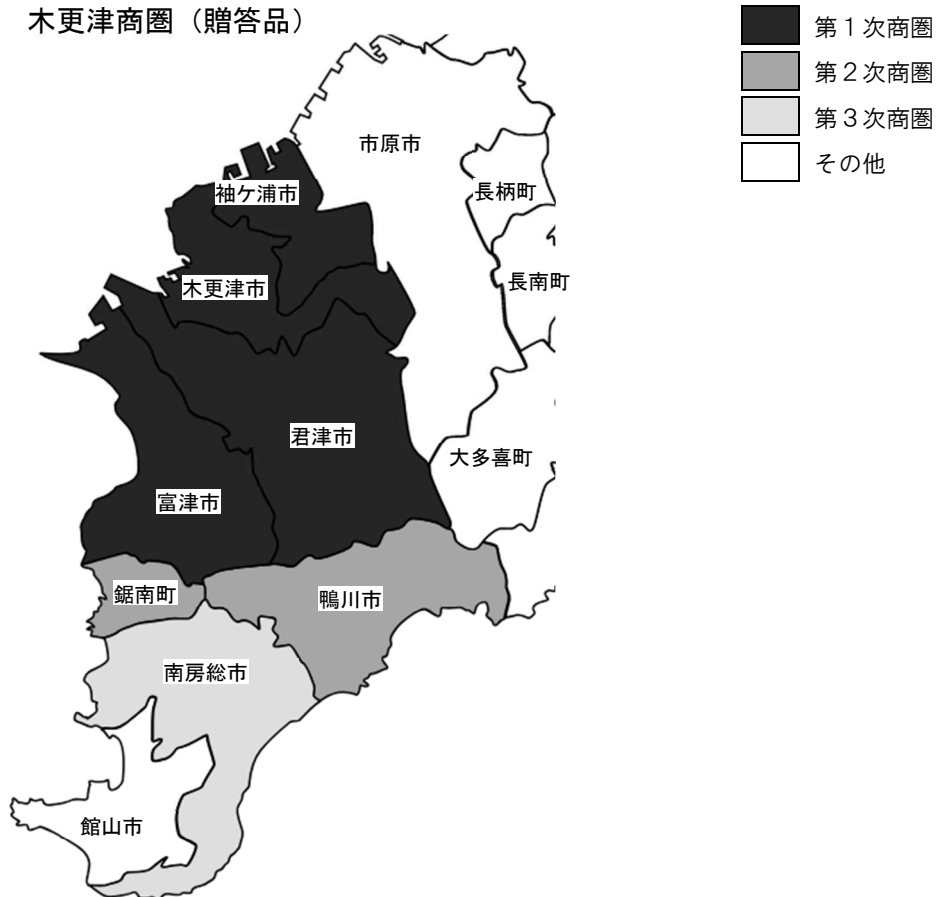
図表4-6-5 木更津商圏（食料品）



図表4-6-6 木更津商圏（飲食）



図表4-6-7 木更津商圏（贈答品）



## 7. 市原商圏（準商業中心都市）

### （1）商圏の概要

市原商圏は、千葉ブロック南部を中心に、長生ブロック西部、夷隅ブロック西部を取り込んだ県中央部に形成されており、前回調査時の3市2町から2市が圏外となり、1市2町となった。

第1次商圏は、前回調査と変わらず、市原市1市となった。（吸引率82.3%）

第2次商圏も前回調査と変わらず1町となった。（吸引率17.7%）

第3次商圏は、前回調査時の2市1町のうち、2市が圏外となり、1町となった。（吸引率6.1%）

商圏人口は、前回調査時（377,758人）から23.8%減少して288,016人（市原市人口の約1.1倍・県人口の4.6%）となった。

商圏内吸引率は、前回調査時（55.8%）から22.5ポイント増加して78.3%となった。

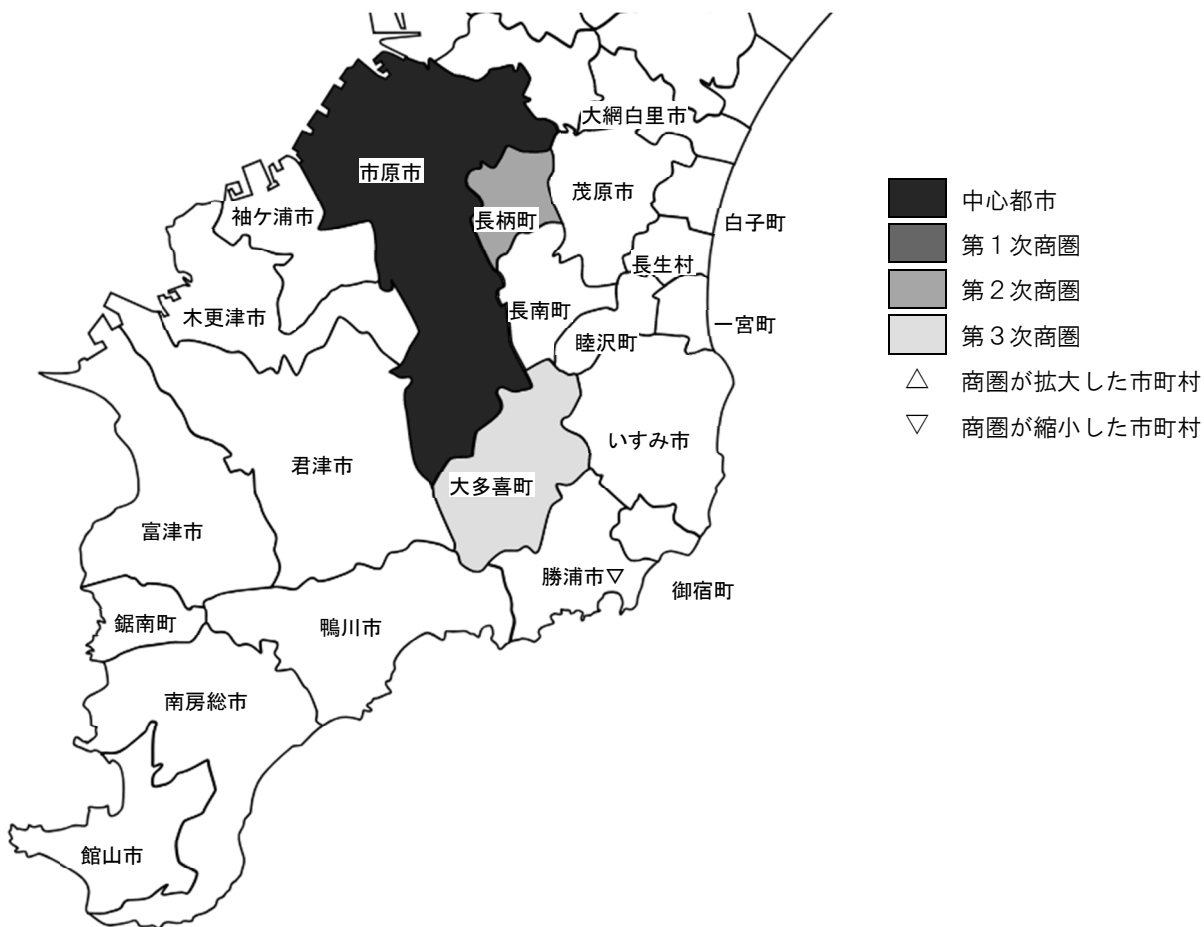
吸引人口は、前回調査時（210,690人）から7.0%増加して225,377人（市原市人口の83.0%・県人口の3.6%）となった。

吸引力は、前回調査時（75.5%）から7.5ポイント増加して83.0%となった。

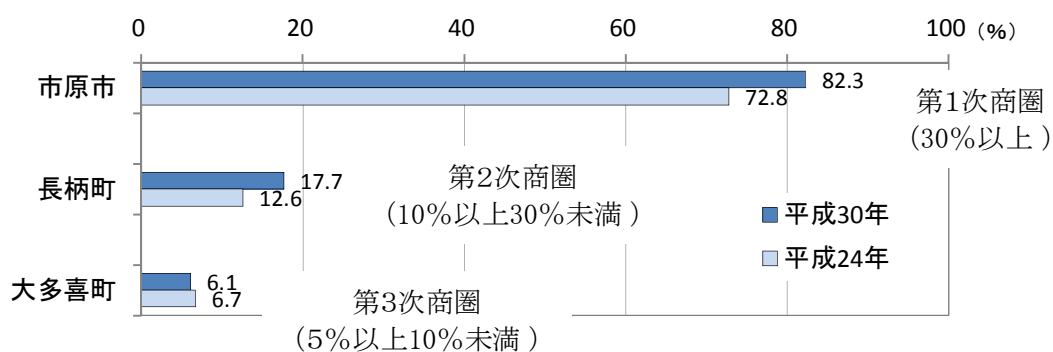
図表4-7-1 市原商圏の市町村別吸引率・商圏人口・吸引人口

商圏 (基準吸引率)	平成30年				前回調査からの 区分の変化	平成24年			
	市町村	市町村 吸引率	市町村 人口 (商圏人口)	吸引人口		市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化	
第1次商圏 (30%以上)	計	1	82.3%	271,640	223,560	計	1	72.8%	
		市原市	82.3%	271,640	223,560		市原市	72.8%	
第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	1	17.7%	7,050	1,248	計	1	12.6%	
		長柄町	17.7%	7,050	1,248		長柄町	12.6%	
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	1	6.1%	9,326	569	計	3	7.3%	
		大多喜町	6.1%	9,326	569		袖ヶ浦市	7.9%	圏外へ
						大多喜町	6.7%		
						勝浦市	5.7%	圏外へ	
合計		3	78.3%	288,016	225,377		5	55.8%	

図表4-7-2 市原商圏（衣料品）



図表4-7-3 市原商圏の吸引状況（市町村別）



(2) その他品目における商圏内市町村の具体的な変化

その他の品目（食料品・飲食・贈答品）における市原商圏内の市町村の変化を以下に示す。

図表4-7-4 市原商圏の市町村の変化（食料品・飲食・贈答品）

商圏 (基準吸引率)	平成30年			平成24年		
	市町村	市町村 吸引率	前回調査から の区分の変化	市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化
食料品	第1次商圏 (30%以上)	計 1 市原市	97.3% 97.3%		計 1 市原市	90.8% 90.8%
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計 1 長柄町	10.9% 10.9%		計 1 長柄町	11.4% 11.4%
	第3次商圏 (5%以上10%未満)	計 0			計 1 袖ヶ浦市	5.7% 5.7%
	合計	2	95.1%		3	74.2% 圏外へ
飲食	第1次商圏 (30%以上)	計 1 市原市	90.9% 90.9%		計 1 市原市	80.4% 80.4%
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計 1 長柄町	14.8% 14.8%		計 2 袖ヶ浦市 長柄町	12.4% 12.7% 10.3%
	第3次商圏 (5%以上10%未満)	計 1 袖ヶ浦市	5.3% 5.3%	第2次から	計 0	
	合計	3	73.7%		3	67.0% 第3次へ
贈答品	第1次商圏 (30%以上)	計 1 市原市	57.6% 57.6%		計 1 市原市	56.1% 56.1%
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計 1 長柄町	17.2% 17.2%	第3次から	計 1 袖ヶ浦市	10.0% 10.0%
	第3次商圏 (5%以上10%未満)	計 1 大多喜町	6.9% 6.9%		計 2 長柄町 大多喜町	7.2% 9.3% 5.6%
	合計	3	55.0%		4	45.8% 圏外へ





## 8. 東金商圏（準商業中心都市）

### （1）商圏の概要

東金商圏は、山武ブロック一帯に印旛ブロック南部を取り込んで形成されており、前回調査では2市4町であったが、八街市が加わり白子町が圏外となり、4市2町となった。

第1次商圏は、前回調査と変わらず2市1町となった。（吸引率54.6%）

第2次商圏は、前回調査時の1市から、1町が第3次商圏から加わり、1市1町となった。（吸引率13.1%）

第3次商圏は、前回調査時の2町が第2次商圏、圏外へとそれぞれ移動し、新たに1市が加わった。（吸引率5.1%）

商圏人口は、前回調査時（219,654人）から20.6%増加して264,963人（東金市人口の約4.5倍・県人口の4.2%）となった。

商圏内吸引率は、前回調査時（40.3%）から9.7ポイント減少して30.6%となった。

吸引人口は、前回調査時（88,450人）から8.3%減少して81,111人（東金市人口の約1.4倍・県人口の1.3%）となった。

吸引力は、前回調査時（144.2%）から7.6ポイント減少して136.6%となった。

図表4-8-1 東金商圏の市町村別吸引率・商圏人口・吸引人口

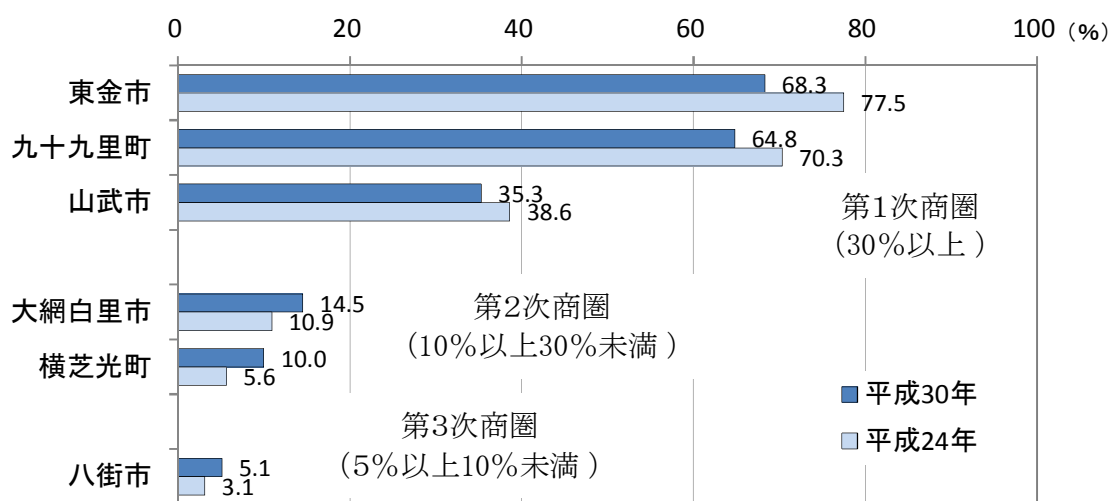
商圏 (基準吸引率)	平成30年					平成24年		
	市町村	市町村 吸引率	市町村 人口 (商圏人口)	吸引人口	前回調査から の区分の変化	市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化
第1次商圏 (30%以上)	計	3	54.6%	125,013	68,296	計	3	60.6%
	東金市		68.3%	59,382	40,558	東金市		77.5%
	九十九里町		64.8%	15,492	10,039	九十九里町		70.3%
	山武市		35.3%	50,139	17,699	山武市		38.6%
第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	2	13.1%	71,380	9,318	計	1	10.9%
	大網白里市		14.5%	48,458	7,026	大網白里町		10.9%
	横芝光町		10.0%	22,922	2,292			
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	1	5.1%	68,570	3,497	計	2	5.8%
	八街市		5.1%	68,570	3,497	白子町		6.2%
						横芝光町		5.6%
合計		6	30.6%	264,963	81,111		6	40.3%

※大網白里市は、平成24年では大網白里町。

図表4-8-2 東金商圏（衣料品）



図表4-8-3 東金商圏の吸引状況（市町村別）



※平成30年の大網白里市は、平成24年では大網白里町。

(2) その他品目における商圏内市町村の具体的な変化

その他の品目（食料品・飲食・贈答品）における東金商圏内の市町村の変化を以下に示す。

図表4-8-4 東金商圏の市町村の変化（食料品・飲食・贈答品）

商圏 (基準吸引率)	平成30年			平成24年		
	市町村	市町村 吸引率	前回調査から の区分の変化	市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化
食料品	第1次商圏 (30%以上)	計	2 80.8%		計	2 83.4%
		東金市	93.4%		東金市	95.7%
		九十九里町	32.6%		九十九里町	39.9%
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	2 15.3%	第3次から	計	1 19.7%
		大網白里市	16.6%		山武市	19.7%
		山武市	14.1%			
	第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	0		計	2 7.7%
					大網白里町	8.2%
					白子町	5.6%
	合計		4 43.6%		5 41.6%	第2次へ 圏外へ
飲食	第1次商圏 (30%以上)	計	4 61.9%		計	3 73.6%
		東金市	88.2%		東金市	90.8%
		九十九里町	88.0%		九十九里町	84.2%
		山武市	50.8%	第2次から	山武市	50.9%
		大網白里市	32.7%			
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	1 15.1%		計	2 21.1%
		横芝光町	15.1%		大網白里町	25.6%
					横芝光町	11.8%
	第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	1 7.1%		計	1 6.0%
		八街市	7.1%		八街市	6.0%
合計		6 43.6%		6 42.2%	第1次へ	
贈答品	第1次商圏 (30%以上)	計	2 50.7%		計	3 54.9%
		東金市	51.0%		東金市	70.1%
		九十九里町	49.5%		九十九里町	65.1%
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	2 15.7%	第1次から	計	1 10.1%
		山武市	19.0%		大網白里町	10.1%
		大網白里市	12.3%			
	第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	0		計	0
	合計		4 30.8%		4 42.7%	第2次へ

※平成30年の大網白里市は、平成24年では大網白里町。

図表4-8-5 東金商圏（食料品）



図表4-8-6 東金商圏（飲食）



図表4-8-7 東金商圏（贈答品）



## 9. 茂原商圏（準商業中心都市）

### （1）商圏の概要

茂原商圏は、長生ブロックと夷隅ブロック一帯に山武ブロック南部を取り込んだ県南東部に形成されており、前回調査では3市7町1村であったが、大網白里市が加わり、4市7町1村となった。

第1次商圏は、前回調査と変わらず2市6町1村となった。（吸引率57.8%）

第2次商圏も前回調査と変わらず1市1町となった。（吸引率24.3%）

第3次商圏は、前回調査では該当する市町村はなかったが、1市が圏外から加わった。（吸引率8.8%）

商圏人口は、前回調査時（231,623人）から14.9%増加して266,220人（茂原市人口の約3.0倍・県人口の4.2%）となった。

商圏内吸引率は、前回調査時（56.9%）から11.2ポイント減少して45.7%となった。

吸引人口は、前回調査時（131,842人）から7.7%減少して121,746人（茂原市人口の約1.4倍・県人口の1.9%）となった。

吸引力は、前回調査時（144.5%）から6.5ポイント減少して138.0%となった。

図表4-9-1 茂原商圏の市町村別吸引率・商圏人口・吸引人口

商圏 (基準吸引率)	平成30年				前回調査からの 区分の変化	平成24年		
	市町村	市町村 吸引率	市町村 人口 (商圏人口)	吸引人口		市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化
第1次商圏 (30%以上)	計	9	57.8%	192,859	111,429	計	9	61.1%
	茂原市		67.4%	88,201	59,447	茂原市		73.0%
	長南町		72.4%	7,748	5,610	長南町		78.7%
	睦沢町		69.9%	6,956	4,862	白子町		67.9%
	白子町		64.9%	10,726	6,961	長生村		65.3%
	長柄町		60.6%	7,050	4,272	長柄町		64.5%
	長生村		58.9%	14,111	8,311	睦沢町		64.4%
	大多喜町		42.9%	9,326	4,001	大多喜町		39.9%
	一宮町		40.8%	11,799	4,814	一宮町		39.1%
	いすみ市		35.6%	36,942	13,151	いすみ市		37.7%
第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	2	24.3%	24,903	6,053	計	2	25.9%
	勝浦市		25.1%	17,837	4,477	御宿町		29.0%
	御宿町		22.3%	7,066	1,576	勝浦市		24.7%
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	1	8.8%	48,458	4,264	計	0	
	大網白里市		8.8%	48,458	4,264	新規		
合計		12	45.7%	266,220	121,746		11	56.9%

※大網白里市は、平成24年では大網白里町。



(2) その他品目における商圏内市町村の具体的な変化

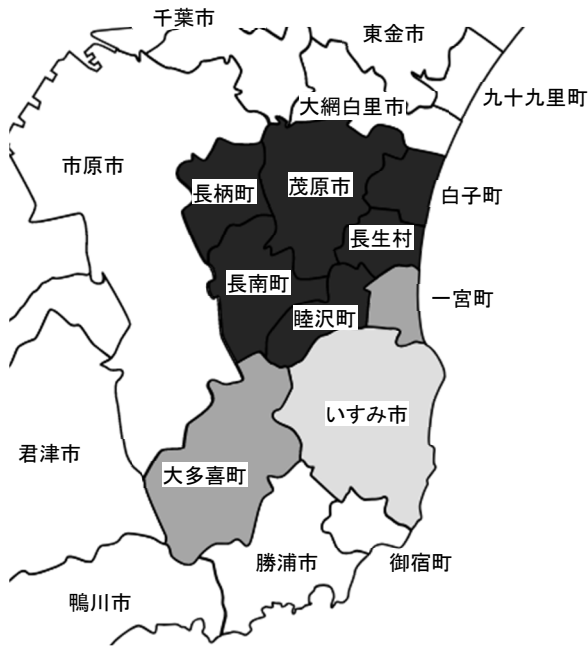
その他の品目（食料品・飲食・贈答品）における茂原商圏内の市町村の変化を以下に示す。

図表4-9-4 茂原商圏の市町村の変化（食料品・飲食・贈答品）

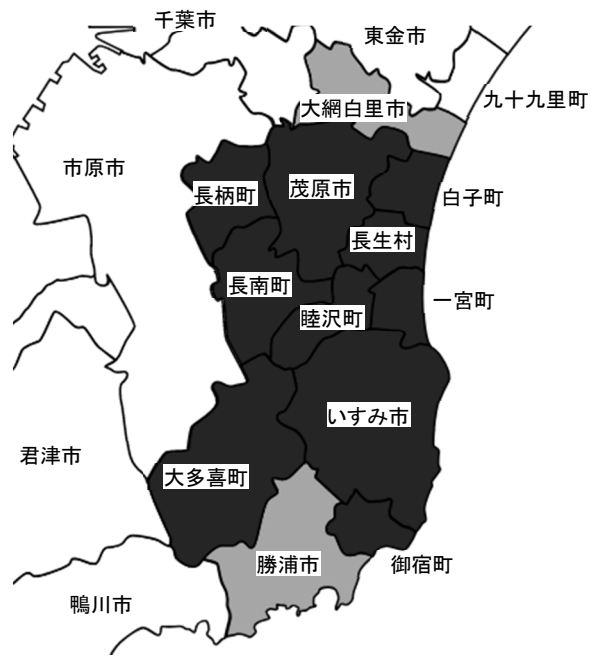
商圏 (基準吸引率)	平成30年			平成24年		
	市町村	市町村 吸引率	前回調査から の区分の変化	市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化
食料品	第1次商圏 (30%以上)	計 6	84.7%		計 6	82.9%
		茂原市	93.6%		茂原市	92.8%
		長南町	87.0%		長南町	84.0%
		長柄町	84.5%		長柄町	79.0%
		長生村	64.4%		長生村	63.8%
		白子町	59.8%		白子町	54.7%
		睦沢町	48.9%		睦沢町	44.4%
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計 2	13.0%		計 2	14.2%
		大多喜町	13.1%		一宮町	15.5%
		一宮町	12.9%		大多喜町	12.7%
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計 1	6.7%		計 1	5.8%	
	いすみ市	6.7%		いすみ市	5.8%	
合計	9	61.9%		9	60.2%	
飲食	第1次商圏 (30%以上)	計 10	80.0%		計 11	78.5%
		茂原市	87.6%		茂原市	91.7%
		睦沢町	93.4%		長南町	97.6%
		長生村	92.6%		長生村	93.9%
		長南町	90.5%		白子町	93.5%
		一宮町	84.4%		睦沢町	92.0%
		白子町	84.2%		一宮町	85.8%
		長柄町	80.3%		長柄町	81.6%
		大多喜町	75.8%		大多喜町	79.0%
		いすみ市	55.8%		いすみ市	58.2%
		御宿町	54.2%		御宿町	41.6%
					勝浦市	34.6%
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計 2	22.6%		計 1	19.8%
		大網白里市	25.1%	第1次から	大網白里町	19.8%
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計 0			計 0		
合計	12	65.7%		12	68.1%	
贈答品	第1次商圏 (30%以上)	計 7	50.1%		計 8	58.0%
		茂原市	52.4%		茂原市	65.6%
		睦沢町	60.7%		長南町	80.7%
		長生村	52.1%		長生村	77.9%
		長南町	50.6%		白子町	57.0%
		長柄町	44.8%		長柄町	57.0%
		白子町	41.7%		睦沢町	54.2%
		一宮町	34.9%		一宮町	41.6%
					いすみ市	34.5%
	第2次商圏 (10%以上30%未満)	計 4	18.7%		計 3	24.6%
		大多喜町	24.4%	第1次から	大多喜町	29.6%
		いすみ市	22.4%		御宿町	24.1%
		勝浦市	11.3%		勝浦市	22.2%
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計 0			計 0		
合計	11	39.8%		11	52.5%	

※平成30年の大網白里市は、平成24年では大網白里町。

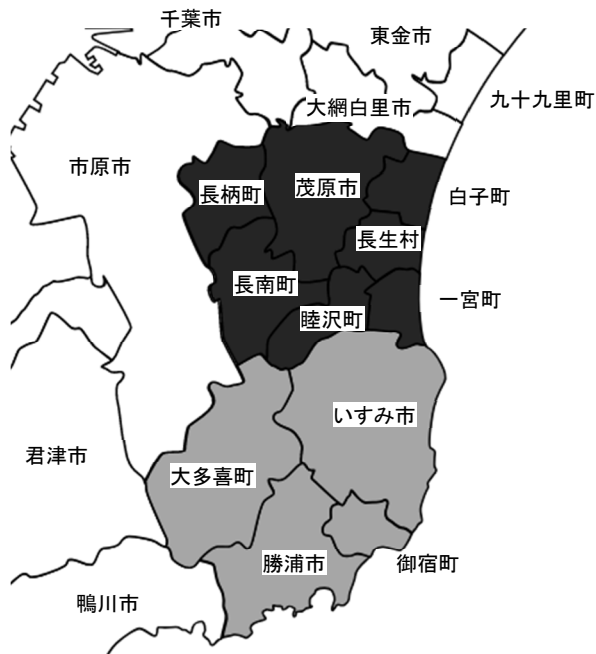
図表4-9-5 茂原商圏（食料品）



図表4-9-6 茂原商圏（飲食）



図表4-9-7 茂原商圏（贈答品）



- 第1次商圏
- 第2次商圏
- 第3次商圏
- その他



## 10. 館山商圏（準商業中心都市）

### （1）商圏の概要

館山商圏は、安房ブロック一帯の県の南端を中心に形成されており、前回調査と変わらず3市1町となった。

第1次商圏は、前回調査と変わらず2市1町となった。（吸引率74.1%）

第2次商圏も前回調査と変わらず1市となった。（吸引率11.4%）

第3次商圏も前回調査と同様に該当する市町村はない。

商圏人口は、前回調査時（133,514人）から7.5%減少して123,461人（館山市人口の約2.7倍、県人口の2.0%）となった。

商圏内吸引率は、前回調査時（64.3%）から6.8ポイント減少して57.5%となった。

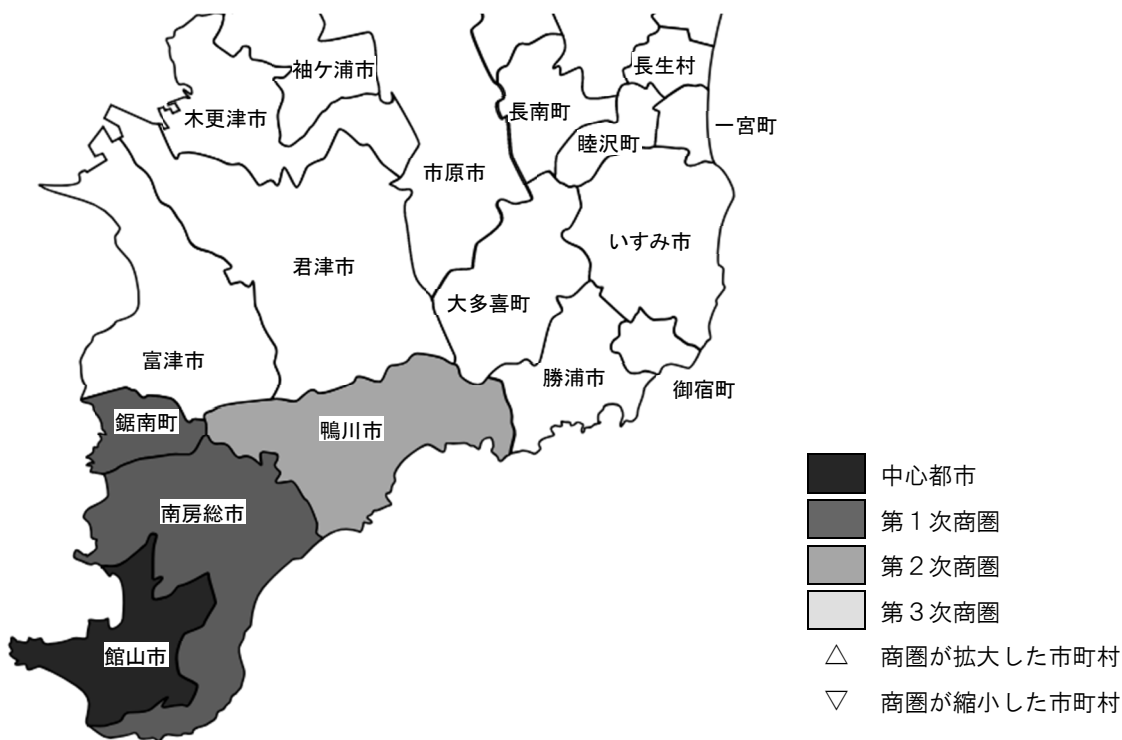
吸引人口は、前回調査時（85,788人）から17.3%減少して70,973人（館山市人口の約1.5倍・県人口の1.1%）となった。

吸引力は、前回調査時（176.0%）から21.7ポイント減少して154.3%となった。

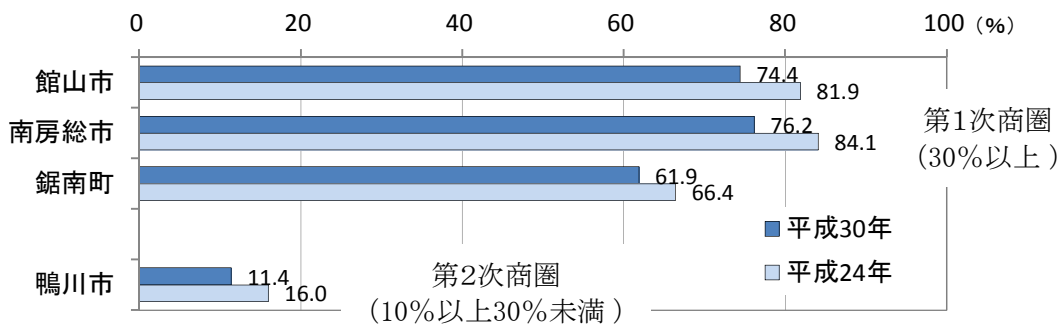
図表4-10-1 館山商圏の市町村別吸引率・商圏人口・吸引人口

商圏 (基準吸引率)	平成30年					平成24年		
	市町村	市町村 吸引率	市町村 人口 (商圏人口)	吸引人口	前回調査から の区分の変化	市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化
第1次商圏 (30%以上)	計	3	74.1%	90,760	67,245	計	3	81.4%
	館山市		74.4%	46,011	34,232	館山市		81.9%
	南房総市		76.2%	37,152	28,310	南房総市		84.1%
	鋸南町		61.9%	7,597	4,703	鋸南町		66.4%
第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	1	11.4%	32,701	3,728	計	1	16.0%
	鴨川市		11.4%	32,701	3,728	鴨川市		16.0%
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	0				計	0	
合計		4	57.5%	123,461	70,973		4	64.3%

図表4-10-2 館山商圏（衣料品）



図表4-10-3 館山商圏の吸引状況（市町村別）



(2) その他品目における商圏内市町村の具体的な変化

その他の品目（食料品・飲食・贈答品）における館山商圏内の市町村の変化を以下に示す。

図表4-10-4 館山商圏の市町村の変化（食料品・飲食・贈答品）

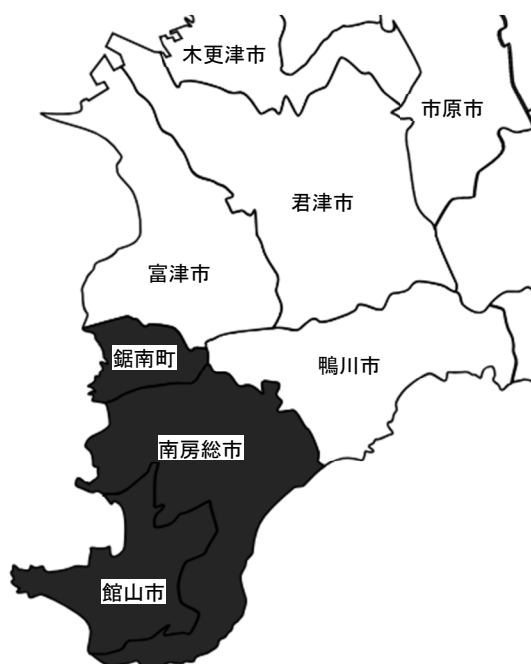
商圏 (基準吸引率)	平成30年			平成24年			
	市町村	市町村 吸引率	前回調査から の区分の変化	市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化	
							計
食料品	第1次商圏 (30%以上)	計	2	81.5%			
		館山市		97.0%	計	2	79.8%
		南房総市		62.3%	館山市		97.8%
	南房総市			南房総市		58.4%	
第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	1	22.4%				
鋸南町		22.4%	計	1	23.6%		
鋸南町			鋸南町		23.6%		
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	0					
計		3	76.6%		3	74.8%	
飲食	第1次商圏 (30%以上)	計	3	89.5%			
		館山市		95.7%	計	3	90.0%
		南房総市		88.2%	館山市		92.6%
		鋸南町		58.3%	南房総市		89.9%
	鋸南町			鋸南町		76.2%	
第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	0					
計		0		計	1	10.2%	
鴨川市			鴨川市		10.2%	圏外へ	
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	0					
計		3	89.5%		4	69.1%	
贈答品	第1次商圏 (30%以上)	計	3	65.0%			
		館山市		68.8%	計	3	77.7%
		南房総市		64.4%	館山市		82.7%
		鋸南町		44.4%	南房総市		76.1%
	鋸南町			鋸南町		56.9%	
第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	0					
計		1	6.3%				
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	1	6.3%				
鴨川市		6.3%	計	1	6.8%		
鴨川市			鴨川市		6.8%		
計		4	49.4%		4	59.1%	

第4章 主要商圏の構造

図表4-10-5 館山商圏（食料品）



図表4-10-6 館山商圏（飲食）



図表4-10-7 館山商圏（贈答品）



- 第1次商圏
- 第2次商圏
- 第3次商圏
- その他

## 1.1. 単独商圏都市（八千代商圏、佐倉商圏、松戸商圏、野田商圏、銚子商圏）

### （1）各商圏の概要

八千代商圏と銚子商圏は、前回調査では準商業中心都市であったが、今回調査からは単独商圏都市となった。八千代商圏は前回調査時の4市から3市が圏外となり、銚子商圏は前回調査と変わらず2市1町となった。

佐倉商圏は、前回調査では商圏を形成していなかったが、今回調査より新たに商圏を形成した。松戸商圏、野田商圏は、前回調査と同様、単独商圏都市であった。

図表4-11-1 八千代商圏の市町村別吸引率・商圏人口・吸引人口

商圏 (基準吸引率)	平成30年				前回調査からの 区分の変化	平成24年		
	市町村	市町村 吸引率	市町村 人口 (商圏人口)	吸引人口		市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化
第1次商圏 (30%以上)	計	1	75.2%	196,592	147,837	計	1	83.8%
		八千代市	75.2%	196,592	147,837		八千代市	83.8%
第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	0				計	1	12.1%
							佐倉市	12.1% 圏外へ
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	0				計	2	7.7%
							船橋市	8.6% 圏外へ
							千葉市	7.2% 圏外へ
合計		1	75.2%	196,592	147,837		4	15.6%

図表4-11-2 佐倉商圏の市町村別吸引率・商圏人口・吸引人口

商圏 (基準吸引率)	平成30年				前回調査からの 区分の変化	平成24年		
	市町村	市町村 吸引率	市町村 人口 (商圏人口)	吸引人口		市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化
第1次商圏 (30%以上)	計	1	62.3%	171,676	106,954	計	1	
		佐倉市	62.3%	171,676	106,954		佐倉市	48.7%
第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	0				計	0	
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	1	6.4%	20,672	1,323	計	0	
		酒々井町	6.4%	20,672	1,323			新規
合計		2	56.3%	192,348	108,277		1	48.7%

図表4-11-3 松戸商圏の市町村別吸引率・商圏人口・吸引人口

商圏 (基準吸引率)	平成30年				前回調査からの 区分の変化	平成24年		
	市町村	市町村 吸引率	市町村 人口 (商圏人口)	吸引人口		市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化
第1次商圏 (30%以上)	計	1	63.2%	490,442	309,959	計	1	73.7%
		松戸市	63.2%	490,442	309,959		松戸市	73.7%
第2次商圏 (10%以上30%未満)	計	0				計	0	
第3次商圏 (5%以上10%未満)	計	1	6.5%	492,440	32,009	計	1	5.2%
		市川市	6.5%	492,440	32,009		市川市	5.2%
合計		2	34.8%	982,882	341,968		2	39.9%

第4章 主要商圈の構造

図表4-11-4 野田商圈の市町村別吸引率・商圈人口・吸引人口

商圈 (基準吸引率)	平成30年					平成24年		
	市町村	市町村 吸引率	市町村 人口 (商圈人口)	吸引人口	前回調査から の区分の変化	市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化
第1次商圈 (30%以上)	計	1	63.3%	152,707	96,664			
	野田市		63.3%	152,707	96,664		76.1%	
第2次商圈 (10%以上30%未満)	計	0						
第3次商圈 (5%以上10%未満)	計	0						
合計		1	63.3%	152,707	96,664		76.1%	

図表4-11-5 銚子商圈の市町村別吸引率・商圈人口・吸引人口

商圈 (基準吸引率)	平成30年					平成24年		
	市町村	市町村 吸引率	市町村 人口 (商圈人口)	吸引人口	前回調査から の区分の変化	市町村	市町村 吸引率	今回調査での 区分の変化
第1次商圈 (30%以上)	計	1	63.8%	60,798	38,789			
	銚子市		63.8%	60,798	38,789		75.5%	
第2次商圈 (10%以上30%未満)	計	1	14.5%	13,609	1,973			
	東庄町		14.5%	13,609	1,973		16.1%	
							14.1%	第3次へ
第3次商圈 (5%以上10%未満)	計	1	8.9%	64,931	5,779			
	旭市		8.9%	64,931	5,779	第2次から		
合計		3	33.4%	139,338	46,541		41.9%	